

平成 29 年度

事業報告書



社会福祉法人 千葉県身体障害者福祉事業団

## 目次

### 第1 事業団事業の概要

1. 総括事項	1
2. 役員名簿	7
3. 評議員名簿	8
4. 理事会開催状況	9
5. 評議員会開催状況	12
6. 施設一覧	14
7. 施設別利用状況	16
8. 組織図	17
9. 職員に関する事項	18
10. 職員の研修等	23
11. 県との指定管理の状況	28
12. 県等との委託契約状況	28
13. 県歳入金（文書料）収入状況	29
14. 県執行備品	29
15. 苦情解決の状況	30
16. 防災訓練等の実施状況	31

### 第2 サービス提供の概要

1. リハビリテーション医療施設	
(1) 概要	32
(2) 施設の運営状況	33
(3) 各業務の概況	36
ア. 看護師等の配置状況	36
イ. リハビリテーション療法の実施状況	37
ウ. 臨床検査の実施状況	38
エ. 放射検査の実施状況	39
オ. 調剤等の実施状況	40
カ. 施設別給食実施状況	41
キ. 相談業務等の実施状況	42
2. 総合療育センター	
(1) 愛育園	
ア. 概要	43
イ. 施設の運営状況	44

(2) 児童発達支援センター	
ア. 概要	48
イ. 施設の運営状況	48
3. 更生園	
(1) 概要	50
(2) 施設の運営状況	51
4. 補装具製作施設	
(1) 概要	53
(2) 施設の運営状況	53
5. 高次脳機能障害支援	
(1) 概要	54
(2) 事業の実施状況	54
6. 地域連携等	
(1) 地域連携部（地域支援室）	56
(2) 外部向け研修会・講習会・公開講座等の実施状況	59
7. 医療安全	
(1) 医療安全管理室	64

### 第3 行政・学校・施設等に対する技術的援助等

1. 職員派遣の状況	67
2. 実習等受入の状況	74

## 第1 事業団事業の概要

### 1. 総括事項

千葉県身体障害者福祉事業団は、県立の身体障害者医療・福祉施設の管理運営を主たる事業目的とする社会福祉法人として千葉県及び関係機関と密接な連携を保ちながら、県の医療・社会福祉事業の推進を図り、広く県民医療・福祉の向上と増進に寄与してきたところである。

平成29年度は、千葉県千葉リハビリテーションセンター（以下「センター」という。）の指定管理者として管理運営を実施し、経営改善を積極的に進めながら各施設の効率的な運営を図るとともに、入院・通院患者及び施設利用児・者に対する医学的、社会的、職業的リハビリテーションを総合的に行い、社会復帰、家庭復帰の促進に努めた。

事業団全体では入院・入所の利用者数が延95,924人で利用率は90.9%となり、前年度と比較すると1,202人増加し、利用率は1.1ポイントの増であった。

また、外来・通所の利用者数は、延50,467人であった。

施設別の内訳は、下表のとおりである。

#### (1) 施設利用状況（各施設の運営状況の詳細は32ページから記載）

##### ア 入院・入所の状況

区分		29年度	28年度	増減
リハ医療施設 (定員110名)	延人数	34,518	34,283	+235
	利用率	86.0	85.4	+0.6
愛育園 (定員132名)	延人数	45,611	44,608	+1,003
	利用率	94.7	92.6	+2.1
更生園 (定員47名)	延人数	15,795	15,831	-36
	利用率	92.1	92.3	-0.2
センター合計 (定員289名)	延人数	95,924	94,722	+1,202
	利用率	90.9	89.8	+1.1

##### イ 外来・通所の状況

区分		29年度	28年度	増減	
外来患者数	延人数	44,999	44,168	+831	
児童発達支援センター (15名)	えぶり (定員5名)	延人数	2,827	2,449	+378
		利用率	91.7	89.5	+2.2
	えぶりキッズ (定員5名)	延人数	1,176	1,169	+7
		利用率	99.7	103.5	-3.8
	えぶりクラブ (定員5名)	延人数	541	206	—
		利用率	44.9	33.0	—
更生園 (定員9名)	延人数	2,641	2,537	+104	
	利用率	120.3	116.5	+3.8	
センター合計	延人数	50,467	49,154	+1,313	

※ 児童発達支援センターの定員は、県の条例上30名であるが、施設のスペース等の関係から15名で事業を実施するため、定員欄には実働の15名を記載している。

利用率は、各施設の稼働日数による。（平成29年度…外来293日、えぶり242日、えぶりキッズ236日、えぶりクラブ241日、更生園244日）

## (2) 短期入所事業の実施

短期入所事業は、千葉リハビリテーションセンター内の医療型障害児入所施設「愛育園」及び障害者支援施設「更生園」の2施設で行った。

その実施状況は、次表のとおりである。

(単位：人)

施設名	実人数・延人数	29年度実績	28年度実績	対前年度増減数
愛育園	実人数	922	920	2
	延人数	4,492	4,579	△87
更生園	実人数	50	32	18
	延人数	307	183	124
合計	実人数	981	952	29
	延人数	4,860	4,762	98

※ 延人数は、前頁「① 施設利用状況 ア 入院・入所の状況」の延人数の内数である。

## (3) 指定管理期間における重点的な取り組み

平成28年度からの指定管理期間（平成28～32年度）においては、指定管理申請時に提出した5か年の事業計画書を踏まえて、以下の項目について重点的に取り組むこととしている。

平成29年度は、特に、地域へのアウトリーチ部門の設置に向けた平成30年度からの組織改編の準備を行った。

### ア. スローガン

誰もが街で暮らすために

地域包括ケア時代をリードする総合リハビリテーションセンターへ

### イ. Strategy (戦略)

(ア) 職員の協働によりサービスの再構築とレベルアップをはかり、新しい時代に力を発揮しよう

(イ) 提供するサービスの可視化と広報の充実で、誰もが利用しやすい千葉リハセンターにしよう

(ウ) 利用者のニーズや社会情勢を把握しながら、迅速に対応できる柔軟な組織を作ろう

### ウ. Tactics (戦術)

(ア) 職員の協働によりサービスの再構築とレベルアップをはかり、新しい時代に力を発揮しよう

#### a 地域へのアウトリーチ部門の設置

・家で生活する重度障害をもつ利用者へサービスを届ける。

・地域の専門職との連携、相互理解、支援を強化するとともに、障害者自立支援部門を設置する。

#### b 総合リハビリテーションセンターとしてそなえるべき機能の強化

・就労支援事業、テクノエイド部門をさらに充実させる。

- ・障害者の健康増進、障害者スポーツ部門の構築を行う。
- c 次の時代へ向けたサービスの展開
  - ・小児の重度化への対応を再構築し中長期計画を作成する。
  - ・増加している認知症状をもつ利用者への対応力を向上させる。
- d 県民や社会からの要求を実現するための環境の刷新
  - ・建て替えの必要性についての多面的なアピールを強力に行っていく。
  - ・利用者ニーズに合っておらず老朽化も進む環境においても、良好なサービスを提供する方策をたてる。

(イ) 提供するサービスの可視化と広報の充実で、誰もが利用しやすい千葉リハセンターにしよう

- a 広報部門の設置
  - ・広報を統括する部門を設置し、広報の内容・手法等を高度化して実施する。
  - ・千葉リハセンターのアピールポイントを明確化し、ひろく発信する。
- b 利用者への説明力の強化、わかりやすい説明の実現
  - ・利用者への説明用ツールを開発し、標準化する。
  - ・職員はつねに利用者へのわかりやすい説明を行う。
- c 利用者・地域住民の運営への参画の促進
  - ・利用者がより主体的に運営へ参画できる方法を検討し促進する。
  - ・地域住民やボランティアを活用し、利用者サービスを充実する。
- d 千葉県や関係機関への積極的な情報提供と協力
  - ・障害児・者のニーズを行政等へアピールし、新たなサービスの創造へつなげる。
  - ・千葉リハセンターに関連する県・関係機関の事業に対して積極的に協力する。

(ウ) 利用者のニーズや社会情勢を把握しながら、迅速に対応できる柔軟な組織を作ろう

- a センター内の職員交流の場づくり
  - ・業務や教育において、多職種の相互理解と協働をより一層推進する。
  - ・限られた環境のなかで、多職種がコミュニケーションをはかりやすい空間を創り出す。
- b 業務のスピードアップに向けた改革
  - ・業務分掌により一人ひとりの職員の責任と合意形成のプロセスを明確化する。
  - ・会議時間の短縮や書類の削減などの合理化を徹底して行う。
- c 利用者へのサービス改善の一層の推進
  - ・日常業務や各プロジェクトにおいて PDCA サイクルを切れ目なく回す。
  - ・最前線のスタッフが、失敗を恐れずに、自ら利用者サービスの改善・変革を推進する活動を推奨する。
- d 診療情報管理・経営戦略立案の強化
  - ・千葉リハセンターに求められていることをつねに客観的に把握し戦略化するため、市場調査と経営分析、および業績の評価を徹底する。
  - ・電子カルテの導入を含め IT 活用により情報一元化を推進する。

※千葉リハセンター：千葉県千葉リハビリテーションセンターの略記

【千葉リハセンター指定管理事業における

医療・児童福祉・障害福祉サービス等事業収入の状況】

(単位：千円・%)

区 分	29年度	28年度	対前年度比	
			金 額	比 率
医 療 事 業	3,167,080	3,121,976	+ 45,104	+ 1.4
障害福祉サービス等事業	568,242	563,966	+ 4,276	+ 0.7
児 童 福 祉 事 業	74,226	70,789	+ 3,437	+ 4.9
合 計	3,809,548	3,756,731	+ 52,817	+ 1.4

(4) 施設の整備

県執行工事

ア 3B病棟トイレ洗面所改修工事

現有機の経年劣化のため、床の張り替え、カーテン間仕切りを鍵付きドアへの変更を実施した。

イ 2BC病棟浴室改修工事

現有設備の経年劣化のため、床の張り替え、棚の更新を実施した。

ウ 小手術室系統、生化学検査室空調機更新工事

現有機の経年劣化に対応するため、小手術室系統、生化学検査室系統の空調機を更新した。

エ 中央監視装置更新工事

非常事態時の迅速な対応を目的として、10箇所防災センターへ発報できる非常通報装置を設置した。

オ 防犯カメラ設置

防犯対策の強化を目的として防犯カメラを16台、追加設置した。

カ ハロゲン化物消化設備交換工事

現有設備の経年劣化のため、該当設備の交換工事を実施した。

キ 厨房床改修工事

現有設備の経年劣化、衛生対策として床の張り替え工事を実施した。

ク トイレ改修工事(洋式化工事)

利用者から要望が多かった和式トイレの洋式化工事を全8箇所計18台実施した。

ケ エアハンドリングユニット交換更新工事(更生園)

現有機の経年劣化に対応するため、更新工事を実施した。

(5) 研修事業の実施状況(詳細は25ページに記載)

事業団職員の資質の向上に資するため、センター長講演会、新規採用職員研修、講習会等を実施した。また、障害当事者であり医師である講師を通して、当事者の障害受容と支援の在り方について学ぶため、全職員を対象としたオール千葉リハ研修会を開催した。

(6) 県内の同種施設に対する技術的な助言・指導(詳細は67～76ページに記載)

ア 当事業団職員を県内の医療機関、社会福祉施設、市町村等へ派遣し、リハビリテーション等に係る技術的援助を行った。

a	医師の派遣指導	23ヶ所	派遣職員数	延	211人
b	療法士の派遣指導	40ヶ所	派遣職員数	延	106人
c	看護師の派遣指導	10ヶ所	派遣職員数	延	64人
d	その他専門職員の派遣指導	11ヶ所	派遣職員数	延	36人

イ 専門技術職員養成校からの実習生・社会福祉施設等からの研修生の受入指導を行った。

a 実習生の受入れ	実人数 978人	受入者数 延 2,349人
b 研修生の受入れ	実人数 40人	受入者数 延 192人

(7) 高次脳マツチドオフィスの開設 (詳細は55ページに記載)

長年にわたる高次脳機能障害支援の実績を活かし、平成29年10月、千葉リハセンター内に「高次脳マツチドオフィス」を開設し高次脳機能障害者のチャレンジ雇用(国、地方自治体で取り組まれている障害者が一般雇用へ向けて経験を積むことを目的とした次のステップのための雇用)を開始した。

(8) 福祉サービスに関する苦情解決 (詳細は30ページに記載)

「社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団福祉サービスに関する苦情解決規則」に基づき、社会福祉施設の利用者等からの苦情等に対して適切な解決に努めている。なお、平成29年度は苦情の受付がなかった。

(9) 事故防止対策 (詳細は64ページに記載)

医療上の事故等の情報を幅広く収集し、事例の分析、具体的な改善策の検討・実施・評価を行い、医療安全の体制の構築を図ると共に計画的に研修会を開催し、体制の強化を図った。

(10) 千葉県高次脳機能障害支援普及事業 (詳細は54ページに記載)

外傷性脳損傷等により、記憶障害、注意障害、遂行機能障害等の後遺症を呈するいわゆる高次脳機能障害について、千葉県千葉リハビリテーションセンターが、各関係機関と連携して、平成13年度から平成17年度までのモデル事業において作成した「診断基準」、「訓練プログラム」及び「支援プログラム」を活用し、支援拠点機関として、社会復帰支援のための相談、関係機関との調整、情報発信・研修等のサービス提供を実施した。

(11) 千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業 (詳細は56～57ページに記載)

千葉県における地域リハビリテーションが適切かつ円滑に提供される体制の整備・推進を図るための中核施設として、当センターは県から平成14年11月以来「千葉県リハビリテーション支援センター」の指定を受けている。

平成29年度は、県内の各二次保健医療圏(9ヵ所)に県が指定する「地域リハビリテーション広域支援センター」との担当者会議、意見交換会を開催するとともに、各広域支援センター連絡協議会等へ出席した。また、千葉県が開始した「ちば地域リハ・パートナー」制度の効果的な運用や質の向上に各広域支援センターと取り組んだ。

さらに、前年度に引き続き、地域リハビリテーション調整者養成研修の開催、情報発信に関わる調査やホームページの運用、地域リハビリテーションに関わる県内の関係事業への協力、県の公募に申込みがあった11校を対象とした地域リハビリテーション出前講座の実施、第11回千葉県地域リハビリテーションフォーラムを開催した。

(12) 千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 (詳細は57～58ページに記載)

大規模災害発生時に被災地の要請に応じ全国規模でのリハビリテーション支援を行うため、平成25年7月に大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)が設立された。これを踏まえ、当センターが事務局となり、県内のリハビリテーション関連職能団体等10団体と協議を重ね、平成27年9月に「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会(C-RAT)」が設立された。

平成29年度は、定期的な幹事会、平成30年1月には第3回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会の開催、第38回九都県市合同防災訓練に参加した。



また、災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定締結に向けた協議を重ね、平成30年3月26日に千葉県と「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結した。

(13) 治験ほか受託研究

千葉県千葉リハビリテーションセンター治験取扱規則に基づき、治験1件（新規）及び製造販売後使用成績調査2件（継続1件、新規1件）を実施した。

(14) 公開講座の開催（詳細は59ページに記載）

「動いて実感！感じて納得！リハビリテーション」をテーマに、地域住民、関係機関等の職員を対象とした第17回千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座を開催した。内容は、当センター長による講演「リハビリテーションってなんだろう？」、リオデジャネイロパラリンピック ボッチャ団体戦銀メダリスト 廣瀬隆喜氏によるトークショーやボッチャ体験会、そして当センター各部署の紹介を目的とした展示・体験ブース、福祉用具の展示、センター内見学ツアー等を行った。

(15) 介助犬認定事業（詳細は58ページに記載）

当事業団は、第二種社会福祉事業である介助犬訓練事業と、身体障害者補助犬法第15条に基づく指定法人の指定を受け、合同訓練の一部実施及び介助犬認定に取り組んでいる。

障害者の自立と社会参加の支援のため、その障害を代償・補完する手段の一つである介助犬に関する事業に取り組んできているが、今年度の認定は無かった。

当事業団が認定した介助犬はこれまで4頭の認定をしており、そのうち現役の介助犬は2頭である。今年度は、この2頭の訓練事業所に対し、「介助犬使用状況及び継続指導等報告書」によるフォローアップを実施した。

(16) テクノエイド支援の充実

福祉用具及び家屋改修等によるテクノエイド支援は、高齢者や障害者の日常生活において重要であるが、一般的にはまだ周知が不足している。平成29年度も引き続き、利用者の退院支援や入院生活の環境調整、センター職員への情報提供、ホームページ構築、中間ユーザー（介護支援専門員、行政担当者等）支援を通じて、利用者の退院後のテクノエイド支援体制を構築する取り組みを実施した。

## 2. 役員名簿

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	職業（公職）
理事長	渡辺 清一	
常務理事	飯塚 正志	
常務理事	吉永 勝訓	千葉県千葉リハビリテーションセンター長
理事	小滝 みや子	千葉県千葉リハビリテーションセンター 福祉局長
理事	星野 恵美子	千葉県看護協会会長
理事	森本 浩司	千葉県医師会副会長
監事	齋藤 久晃	齋藤久晃公認会計士事務所所長
監事	須藤 敏行	千葉県まちづくり公社監事

### 3. 評議員名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職 名	氏 名	職 業 ( 公 職 )
評 議 員	旭 俊 臣	旭神経内科リハビリテーション病院長
評 議 員	飯 岡 秀 之	全国脊髄損傷者連合会千葉県支部支部長
評 議 員	井 上 峰 夫	社会福祉法人九十九里ホーム理事長
評 議 員	白 井 正 一	千葉県肢体不自由児協会理事長
評 議 員	大 鳥 精 司	千葉大学大学院医学研究院整形外科学教授
評 議 員	神 林 保 夫	千葉県身体障害者福祉協会顧問
評 議 員	佐 藤 俊 一	淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授
評 議 員	田 中 鈴 子	千葉県重症心身障害児(者)を守る会会長
評 議 員	田 邊 政 裕	千葉県立保健医療大学学長
評 議 員	角 田 義 規	千葉高次脳機能障害者と家族の会世話人
評 議 員	渡 邊 哲 夫	千葉県立袖ヶ浦特別支援学校校長

#### 4. 理事会開催状況

本年度は理事会を5回開催し、理事長の選任、評議員選任・解任委員会委員の選任、事業報告・事業計画、予算・決算及び諸規程の改正等を決議した。

開催状況は次のとおりである。

回数	開催日	場所	議案等	
第1回	平成29年5月30日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	平成28年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団事業報告書、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書、貸借対照表・資金収支計算書及び事業活動計算書の附属明細書、財産目録について
			議案第2号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団評議員選任・解任委員会委員の選任について
			議案第3号	平成29年度第1回評議員会の開催について
			報告第1	理事長及び常務理事の職務執行状況について
			報告第2	千葉県による平成27年度に係る財政的援助団体等監査の結果について
			報告第3	千葉市による平成28年度社会福祉法人等指導監査の結果について
			報告第4	千葉市による平成28年度障害福祉サービス事業者等実地指導の結果について
			その他第1	関連当事者との取引質問票について
第2回	平成29年6月20日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	理事長の選任について
			議案第2号	常務理事の選任について
			議案第3号	常務理事の選任について
			議案第4号	理事の担当分担について
			議案第5号	会計監査人の報酬額の承認について
			議案第6号	平成29年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団資金収支補正予算について
第3回	平成29年12月15日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	平成29年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団資金収支補正予算

回数	開催日	場所	議案等	
			議案第2号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団経理規程の一部を改正する規程の制定について
第4回	平成30年1月26日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例に基づき派遣された職員の給与に関する規程の一部を改正する規程の制定について
第5回	平成30年3月20日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	平成29年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団資金収支補正予算
			議案第2号	平成30年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団事業計画
			議案第3号	平成30年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団資金収支予算
			議案第4号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団就業規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第5号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団職員育児休業規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第6号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第7号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団役員及び評議員報酬等規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第8号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第9号	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団経理規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第10号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく更生園運営規程（就労定着支援）の制定について

回数	開催日	場所	議案等
			議案第11号 児童福祉法に基づく愛育園（指定医療型障害児入所施設）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第12号 愛育園（療養介護）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第13号 愛育園（短期入所）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第14号 児童発達支援センター（生活介護）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第15号 児童福祉法に基づく千葉県千葉リハビリテーションセンター児童発達支援センター（医療型児童発達支援）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第16号 児童福祉法に基づく千葉県千葉リハビリテーションセンター児童発達支援センター（福祉型児童発達支援）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第17号 児童福祉法に基づく千葉県千葉リハビリテーションセンター児童発達支援センター（放課後等デイサービス）運営規程の一部を改正する規程の制定について
			議案第18号 児童発達支援センター運営規程（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）の一部を改正する規程の制定について
			議案第19号 平成29年度第2回評議員会の開催について

## 5. 評議員会開催状況

本年度は評議員会を2回開催し、理事・監事・会計監査人の選任、事業報告・事業計画、予算・決算及び諸規程の改正等を審議した。

開催状況は次のとおりである。

回数	開催日	場所	議案等	
第1回	平成29年6月20日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	平成28年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団事業報告書、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書、貸借対照表及び資金収支計算書及び事業活動計算書の附属明細書、財産目録について
			議案第2号	理事の選任について
			議案第3号	理事の選任について
			議案第4号	理事の選任について
			議案第5号	理事の選任について
			議案第6号	理事の選任について
			議案第7号	理事の選任について
			議案第8号	監事の選任について
			議案第9号	監事の選任について
			議案第10号	会計監査人の選任について
			議案第11号	理事及び監事に支給する報酬の総額及び支給基準の承認について
			その他第1	関連当事者との取引質問票について
			その他第2	兼職状況の確認について
第2回	平30年3月27日	千葉リハビリテーションセンター	議案第1号	理事の選任について
			報告第1	平成29年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団資金収支補正予算について
			報告第2	平成30年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団事業計画について
			報告第3	平成30年度社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団資金収支予算について
			報告第4	社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団役員及び評議員報酬

回数	開催日	場所	議案等
			等規程の一部を改正する規程の制定について
			報告第5 社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
			報告第6 社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団経理規程の一部を改正する規程の制定について
			報告第7 施設用財産に関する契約（「100万円以上の工事又は製造の請負契約」及び「100万円以上の物品買入りに係る契約」）及びその他重要な契約並びに長期継続契約について
			報告第8 理事長及び常務理事の職務執行状況について
			報告第9 平成28年度財政的援助団体等監査の結果について
			報告第10 千葉県保健所による平成29年度医療機関立入検査の結果について
			報告第11 平成28年度指定管理者管理運営状況評価の結果について
			報告第12 千葉県千葉リハビリテーションセンターの管理運営に係る協定書の一部変更について
			報告第13 人件費積立資産の一部取崩について
			報告第14 平成30年度苦情解決第三者委員の委嘱について



6. 施設一覧

施設の名称及び種類		設置根拠法規	区 分	設置年月日	定 員
千葉県 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 療 施 設	リハビリテーション 医療施設	医療法 (第1条の5)	医療	H 3. 4. 1	110 人
	愛育園 (医療型障害児入所施設)	児童福祉法 (第42条)	第一種・ 第二種社会 福祉事業	H 24. 4. 1	132 人
	児童発達支援センター (医療型児童発達支援センター)	児童福祉法 (第43条)	第二種社会 福祉事業	H 24. 4. 1	30 人
	更生園 (障害者支援施設)	障害者総合支援法 (旧:障害者自立支援法) (第5条)	第一種・ 第二種社会 福祉事業	S 56. 4. 1	56 人
	補装具製作施設	身体障害者福祉法 (第32条)	第二種社会 福祉事業	S 56. 4. 1	—
	計	—	—		328 人

※ 児童発達支援センターの定員は県の条例上30名であるが、施設のスペース等の関係から実動15名で事業を実施している。

業 務 内 容	建物の面積	土地の面積	所 在 地
身体に障害を有するものを入院及び通院させて、高度の医学的リハビリテーションを総合的に実施することにより、これら利用者に対する身体障害の予防及び軽減のほか、合併症等の治療を行う。	m <sup>2</sup> 7,973.40	m <sup>2</sup> 57,026.10	千葉県緑区誉田町 1丁目45番2
肢体不自由のある児童又は重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している児童を保護するとともに日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行う。また、18歳以上の肢体不自由のある者又は重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している者について、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話を供与する。さらに、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者等につき、短期間の入所をさせ、入浴、排せつ又は食事の介護その他の便宜を供与する。	10,344.40		
重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している児童に対し日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与又は集団生活への適応のための訓練及び治療を行う。また、18歳以上の重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している者について、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を供与する。	259.50		
身体障害者に対して、施設入所支援、自立訓練（機能・生活訓練）及び就労移行支援により地域生活及び就労移行に向けた必要な訓練、支援等を行う。また、居宅においてその介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする身体障害者につき、短期間の入所をさせ、入浴、排せつ又は食事の介護その他の便宜を供与する。	8,167.51		
無料又は低額の料金で、補装具の製作又は修理を行う。	444.60		
	27,189.41	57,026.10	

7. 施設別利用状況一覧

①入院・入所の状況

(単位：人)

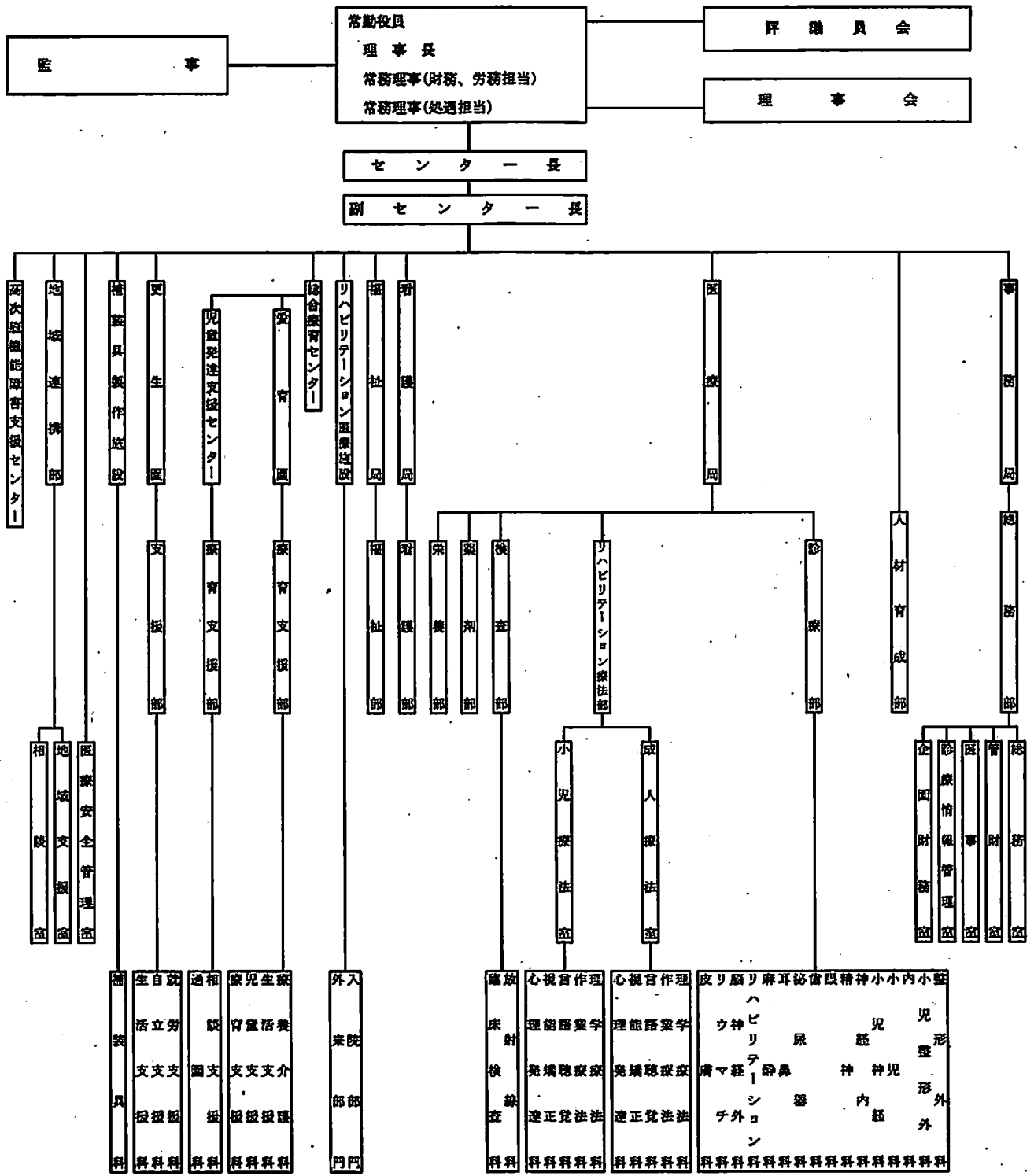
月 区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	1日 平均
リハビリテー ション医療施設	2,887	2,742	2,681	3,108	2,997	2,986	2,783	2,677	2,871	3,002	2,773	3,011	34,518	94.6
愛 育 園 (医療型障害児 入所施設)	3,757	3,919	3,725	3,803	3,937	3,727	3,914	3,766	3,925	3,772	3,476	3,890	45,611	125.0
更 生 園 (障害者支援施 設)	1,372	1,420	1,313	1,337	1,387	1,316	1,311	1,210	1,304	1,270	1,206	1,349	16,795	43.3
センター計	8,016	8,081	7,719	8,248	8,321	8,029	8,008	7,653	8,100	8,044	7,455	8,250	95,924	262.8

②外来・通所の状況

(単位：人)

月 区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	1日 平均
外来患者数	3,600	3,550	3,857	3,852	3,948	3,767	3,758	3,693	3,752	3,437	3,606	4,179	44,999	150.7
児童発達支援 センター (医療型児童発達 支援センター)	225	235	264	215	224	239	247	232	238	198	261	249	2,827	-
え ぶ り	97	96	101	81	101	94	99	89	90	79	87	96	1,110	4.6
えぶりキッズ	92	101	115	91	83	100	108	95	96	81	117	97	1,176	5.0
えぶりクラブ	36	38	48	43	40	45	40	48	52	38	57	56	541	2.2
更 生 園 (障害者支援施 設)	230	239	248	215	199	204	240	236	218	187	205	220	2,641	10.8
センター計	4,055	4,024	4,369	4,282	4,371	4,210	4,245	4,161	4,208	3,822	4,072	4,648	50,467	-

### 8. 組織図



9. 職員に関する事項

(1) 職員数

施設 職 種		千葉リハビリテーションセンター								
		男			女			合計		
		正規職員	年俸制任期付職員・ 臨時的任用職員・ 退職再任用職員	小計	正規職員	年俸制任期付職員・ 臨時的任用職員・ 退職再任用職員	小計	正規職員	年俸制任期付職員・ 臨時的任用職員・ 退職再任用職員	合計
医 師		11	1	12	4	2	6	15	3	18
薬 剤 師		3		3	2		2	5		5
訓 練 士	理学療法士	29		29	22		22	51		51
	作業療法士	10		10	30	2	32	40	2	42
	言語聴覚士	3		3	12		12	15		15
	視能訓練士				2		2	2		2
	心理発達治療士				6	1	7	6	1	7
	義肢装具士	1		1				1		1
診療放射線技師		3		3		1(1)	1(1)	3	1(1)	4(1)
臨床検査技師		1		1	4		4	5		5
臨床工学技士		1		1				1		1
看 護 師		22		22	135	5	140	157	5	162
保 育 士		7		7	32	2(1)	34(1)	39	2(1)	41(1)
指 導 員		5		5	5	2(1)	7(1)	10	2(1)	12(1)
生活支援員		5		5	8	2	10	13	2	15
ソーシャルワーカー		4		4	7	1	8	11	1	12
栄 養 士					2		2	2		2
事 務 員		22	5(3)	27(3)	4	6(1)	10(1)	26	11(4)	37(4)
助 手					7	10(1)	17(1)	7	10(1)	17(1)
生活援助員		16		16	18	1	19	34	1	35
合 計		143	6(3)	149(3)	300	35(5)	335(5)	443	41(8)	484(8)

\*他に常勤役員として理事長及び常務理事2名の合わせて3名がいる。

( )の人数は、退職再任用職員で内数である。

(2) 職員採用状況

職 種	採用者	受験者
看 護 師	12	15
理 学 療 法 士	5	17
作 業 療 法 士	3	9
言 語 聴 覚 士	1	7
心 理 発 達 士	2	7
薬 剤 師	2	2
社 会 福 祉 士	4	9
保 育 士	2	6
介 護 福 祉 士	2	3
合 計	33	75

## (3) 職員の福利厚生

## ア 健康管理事業実施状況

区分	事業名	対象者	受診者数(名)	実施時期	検査項目	検査実施機関
健康診断関係	一般健康診断	人間ドックを受けない職員全員	328	5月	身体計測、視力聴力、胸部X線検査、血圧、心電図、肝臓胆道系、脂質代謝、糖代謝、血液算定検査、腎臓尿路系検査、診察	ちば県民保健予防財団
	通院人間ドック	希望者	197	6月～2月	身体計測、視力聴力、眼底検査、胸部X線検査、肺機能検査、血圧、心電図、上部消化管検査、下部消化管検査、腎臓尿路系肝臓胆道膵臓検査、血液算定検査、脂質代謝糖代謝電解質検査、血清検査	ちば県民保健予防財団
	通院人間ドック	希望者	15	10月	身体計測、視力聴力、眼底検査、胸部X線検査、肺機能検査、血圧、心電図、上部消化管検査、下部消化管検査、腎臓尿路系肝臓胆道膵臓検査、血液算定検査、脂質代謝糖代謝電解質検査、血清検査	社団翠明会 山王病院
	胃がん検診	希望者	24	11月	問診、胃部X線間接撮影	ちば県民保健予防財団
	大腸がん検診	希望者	53	11月	免疫学的便潜血反応検査	
	肺がん検診	希望者	58	11月	問診、喀痰細胞診	
	子宮がん検診	希望者	144	1月	問診、視診、細胞診	
	乳がん検診	希望者	59	1月	問診、マンモグラフィ	
	乳がん検診	希望者	139	1月	問診、超音波	
	骨密度測定	希望者	108	11月	超音波法	
	電離放射線業務従事職員健康診断	放射線業務従事者	延べ36	5月 11月	被ばく歴の有無の調査、診察、血液検査、白血球数、白血球百分率	ちば県民保健予防財団
	深夜業務従事職員健康診断	深夜業務従事職員	253	11月	身体計測、視力聴力、血圧、心電図、肝臓胆道系、脂質代謝、糖代謝、血液算定検査、腎臓尿路系検査、診察	
	有機溶剤・特定化学物質健康診断	有機溶剤・特定化学物質使用業務従事者	延べ2	5月 11月	有機溶剤基本コース 診察、問診、尿蛋白 有機溶剤スルソ 尿中マンデル酸 有機溶剤ノルマルヘキサン 尿中2.5-ヘキサノン	
結核診断	29年度新規採用者及び28年度中途採用者	73	5月	QFT検査		

区分	事業名	対象者	受診者数(名)	実施時期	検査項目	検査(実施)機関
健康診断関係	ストレスチェック	全職員	491	9月	職業性ストレス簡易調査票	ちば県民保健 予防財団
	腰痛・頸肩腕痛検診	全職員	518	12月	一次検査 問診票	事業団
		一次検査の結果二次検査対象となった職員 の内の希望者	5	1・2月	二次検査 産業医による診察	事業団
検査関係	B・C型肝炎抗体検査	全職員	538	5月	HBS抗原・抗体検査 HCV抗体第3世代 HBE抗原・抗体検査	ちば県民保健 予防財団
	麻疹抗体検査	平成28年度に ワクチン接種を した職員	2	5月	麻疹ウイルスIgG(EIA)検診	ちば県民保健 予防財団
	風疹抗体検査		2	5月	風疹ウイルスIgG(EIA)検診	
	ムンプス抗体検査		12	5月	ムンプスウイルスIgG(EIA)検診	
	水痘抗体検査		7	5月	水痘、帯状ヘルペスIgG(EIA)検診	
	被ばく放射線測定検査	放射線業務従事職員	延べ370	毎月	X線被ばく線量当量の測定検査	長瀬ランダウア (株)
	腸内細菌検査	栄養士	延べ36	毎月	腸内細菌検査	(株)エスアールエル
予防接種関係	B・C型肝炎	HBs抗体陰性及び弱陽性者の希望者	96	7月	B型肝炎ワクチン接種	事業団
			96	8月		
			92	3月		
	インフルエンザ	希望者	508	11月	インフルエンザワクチン接種	
	麻疹	抗体価測定が陰性及び弱陽性の職員で希望者	17	9月	麻疹ワクチン接種	
	風疹		17	9月	風疹ワクチン接種	
ムンプス	22		1月	おたふくかぜワクチン接種		
水痘	10		12月	水痘ワクチン接種		

イ 産業医等の職場巡視実施状況

実施年月日		巡視箇所
H 29	4月19日	外来・薬剤部・リハビリ療法部(1・2階勤務室) 医師当直室・師長当直室・ゲストルームAB・仮眠室・仮眠室兼静養室
	5月17日	リハビリ療法部(3階勤務室)・中央材料室・検査部・医療安全管理室 総務部・診療情報管理室・看護部・図書室・補装具製作施設
	6月12日	栄養部勤務室・厨房・コントロール室・洗濯室・防災センター
	7月12日	愛育園(1BC)・児童発達支援センター(1階通園)・更生園・地域連携部 高次脳機能障害支援センター
	8月16日	愛育園(2B親子・2C)・総合療育センター職員勤務室・愛育園勤務室 医療施設(2A・3AB・3C)
	9月11日	外来・薬剤部・リハビリ療法部(1・2階勤務室) 医師当直室・師長当直室・ゲストルームAB・仮眠室・仮眠室兼静養室
	10月11日	リハビリ療法部(3階勤務室)・中央材料室・検査部・医療安全管理室 総務部・診療情報管理室・看護部・図書室・補装具製作施設
	11月1日	栄養部勤務室・厨房・コントロール室・洗濯室・防災センター
	12月7日	愛育園(1BC)・児童発達支援センター(1階通園)・更生園・地域連携部 高次脳機能障害支援センター
H 30	1月16日	愛育園(2B親子・2C)・総合療育センター職員勤務室・愛育園勤務室 医療施設(2A・3AB・3C)
	2月14日	外来・薬剤部・リハビリ療法部(1・2階勤務室) 医師当直室・師長当直室・ゲストルームAB・仮眠室・仮眠室兼静養室
	3月12日	リハビリ療法部(3階勤務室)・中央材料室・検査部・医療安全管理室 総務部・診療情報管理室・看護部・図書室・補装具製作施設

ウ 感染予防対策に関する事業

マスク配付	全職員(1人2箱)	531名	配付時期10月
		1,062箱	



エ 職場保育所入退所状況

(単位：人)

区分 項目	入退所状況				平成30年3月31日現在の年齢別内訳					
	年度当初	中途入所	中途退所	年度末日	一歳未満	一歳以上 三歳未満	三歳	四歳	五歳以上	計
児童数	43 (10)	14 (4)	6 (2)	51 (12)	1 (0)	18 (5)	13 (1)	7 (2)	12 (4)	51 (12)

備考1 児童数の定員は50名（センター40名、こども病院10名）であり、1日の託児は50名以内としている。

2（ ）はこども病院児童数で内数であるが、1日の託児は10名以内としている。

オ 職員住宅利用状況

(単位：人)

区分	職員住宅名	内容	戸数又は 室数	29.4.1 入居者数	年度 入居者数	年度 退居者数	30.3.31 入居者数
世帯寮	誉 荘	3DK	20	5	1	1	5
独身寮	青葉寮	1K	40	13	2	3	12
合 計			60	18	3	4	17

10. 職員の研修等

(1)外部研修

ア 国内

区分	研修会名	開催場所	開催年月日	主催	参加人数	参加職員
特別研修	メンタルヘルス・産業保健・産業看護セミナー	(独)労働者健康安全機構千葉産業保健総合支援センター	H29.5.16,6.7,7.19,9.25	(独)労働者健康安全機構千葉産業保健総合支援センター	1名	医師
	介護過程を意識した技術指導	千葉市ハーモニープラザ	H29.5.23	(福)千葉市社会福祉協議会千葉市社会福祉研修センター	1名	生活援助員
	平成29年度 全国自治体病院協議会事務長部会研修会	ラーニングスクエア新橋	H29.5.26	公益社団法人全国自治体病院協議会	1名	事務
	病院管理研修 医療経営専攻課程	(株)ホギメディカル本社ビル	H29.5.26~27,6.16~17,7.22~23,8.25~26,9.15~16,10.14~15	公益社団法人医療・病院管理研究協会	1名	事務
			H29.7.22~23,8.26		1名	言語聴覚士
			H29.5.27,7.22~23,9.15,10.15		1名	作業療法士
	H29.5.26~27,6.16,7.22,8.26,10.15	1名	心理発達治療士			
	平成29年度 看護部会研修会	都市センターホテル	H29.6.16	公益社団法人全国自治体病院協議会	2名	看護師
	働きやすい職場づくり推進セミナー	千葉県自治会館	H29.6.27	千葉労働局雇用環境・均等室	2名	事務
	病院管理 病院長研修 ~医療需要の変化を見据えた病院再編のために~	(株)ホギメディカル本社ビル	H29.6.30	公益社団法人医療・病院管理研究協会	1名	医師
	平成29年度 就業支援基礎研修	ポリテクカレッジ千葉	H29.7.11~13	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部	2名	生活支援員 作業療法士
		障害者職業総合センター	H29.10.10~12		1名	心理発達治療士
	第七回看護師対象薬物乱用対策研修会	(独)国立病院機構下総精神医療センター	H29.7.14	(独)国立病院機構下総精神医療センター	1名	看護師
	平成29年度 全国自治体病院協議会接遇トレーナー養成研修会	都市センターホテル	H29.8.8~10	公益社団法人全国自治体病院協議会	2名	事務・臨床検査技師
	平成29年度 第1回 介護予防事業従事者研修	千葉市文化センター	H29.8.18	千葉県健康福祉部高齢者福祉課	2名	理学療法士
	平成29年度 看護管理研修会(第1回 東京)	ベルサール神田	H29.8.23~25	公益社団法人全国自治体病院協議会	3名	看護師
	平成29年度 千葉県相談支援従事者初任者研修(講義・演習)	千葉市民会館ホール 千葉県教育会館	H29.8.17~19 8.31~9.1	千葉県	1名	ソーシャルワーカー
	平成29年度 千葉県相談支援従事者初任者研修(講義)	千葉市民会館ホール	H29.8.17~18	千葉県	2名	保育士
	説明力向上研修	ちば仕事プラザ	H29.9.6	千葉県職業能力開発協会	1名	生活支援員
平成29年度 障害者ヘルスプロモーション事業に関する研修会	国立障害者リハビリテーションセンター	H29.9.6~8	国立障害者リハビリテーションセンター	1名	生活援助員	
平成29年度 千葉県相談支援従事者①現任研修	千葉県教育会館	H29.10.4,12,13	千葉県	2名	ソーシャルワーカー	

区分	研修会名	開催場所	開催年月日	主催	参加人数	参加職員
	平成29年度 千葉県相談支援従事者②現任研修	千葉県教育会館	H29.10.4,16,18	千葉県	1名	生活支援員
	見える化研修	ちば仕事プラザ	H29.10.5	千葉県職業能力開発協会	1名	生活援助員
	企業在籍型職場適応援助者養成研修 (本部研修)	サンポートホール高松	H29.10.17~20	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	1名	心理発達治療士
		障害者職業総合センター	H30.2.13~16		1名	事務
	企業在籍型職場適応援助者養成研修 (地域研修)	千葉障害者職業センター	H29.10.25~27	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	1名	心理発達治療士
			H30.2.28~3.2		1名	事務
	職場における新たな腰痛対策	日本ボイラ協会	H29.10.31	中央労働災害防止協会	3名	医師 理学療法士
	平成29年度 千葉県サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)研修	千葉市民会館大ホール	H29.11.1,13,15	千葉県健康福祉部障害福祉事業課	1名	保育士
		千葉県教育会館			H29.11.1,22,27,12.13-14	1名
		千葉リハビリテーションセンター	H29.11.6,8		1名	生活援助員
	平成29年度院内感染対策講習会	有楽町朝日ホール	H30.1.11~12	一般社団法人日本感染症学会	1名	医師
	決算期別法人説明会	五井グランドホテル	H30.3.13	千葉南税務署	1名	事務

## イ 国外

学会名等	目的	日程	場所	発表者等
18thEFORT Congress 2017	学会発表	H29.5.30~6.4	ウィーン(オーストリア)	第一整形外科部長 付岡 正
aaPM&R Annual Assembly 2017	学会参加	H29.10.11~15	コロラド(アメリカ)	副センター長 菊地 尚久
職員海外派遣研修	海外のリハビリテーションの制度、技術を知り、現地スタッフとの交流を行うことにより、職員の知識と視野の拡大を図る		シドニー(オーストラリア) Japanese Australian Support in Community Cerebral Palsy Children's Hospital at Westmead Angricare Aged Care Liverpool Brain Injury Rehabilitation Unit Royal Rehabilitation Centre Sargood on Collaroy	医長 中山 一 上席理学療法士 小川 智美 主任言語聴覚士 山本 小緒里 主任作業療法士 吉田 顕 副看護師長 横山 夕里子 主任看護師 尾上 望 主任生活支援員 山野木 大海 主事 柴田 桂佑
AAOS 2018 Annual Meeting	学会参加	H30.3.9~10	ルイジアナ(アメリカ)	第一整形外科部長 付岡 正
ORS 2018 Annual Meeting	学会発表	H30.3.10~13	ルイジアナ(アメリカ)	第一整形外科部長 付岡 正

## (2)院内研修

区分	研修会名	開催年月日	講師	内容	参加人数	参加職員
一般研修	新任職員研修	H29.4.3 H29.4.4	センター長 吉永 勝剛	千葉リハビリテーションセンターの役割について	46名	新規採用職員
			愛育園長 石井 光子	障害児の療育		
			医療局長 染屋 政幸	医療安全・個人情報		
			検査部長 藤縄 直人	院内感染対策		
			産業医 飯塚 正之	安全衛生		
			高次脳機能障害支援 センター長 小倉 由紀	地域支援		
			地域連携部長 田中 康之			
			地域連携部相談室長 森戸 崇行	給与・服務・福利厚生		
			総務部総務室 片岡 和洋			
			看護局長 荒木 晴子	倫理・利用者の権利・義務憲章・虐待防止		
リハビリテーション療法部 富岡 利成 佐藤大幸 村山尊 司	車椅子支援					
センター長講演会	H29.4.11 H29.4.13 H29.4.17 H29.4.19	センター長 吉永 勝剛	平成29年度の千葉リハ	429名	全職員	
特別研修	コミュニケーション研修	H29.5.25	オフィスヒューマン ブリッジ代表 井手 芳美	同じ職場で働く仲間として、お互いに良好な関係を築くための対人スキルを身につける	55名	新規採用職員
	BLS/AED研修	H29.6.30	千葉県救急医療センター 救急看護認定看護師	心配蘇生の重要性とAEDの使用方法について学び、緊急時のチームワークの重要性と自分の役割を知る	56名	新規採用職員
	新採接遇研修(Ⅰ)	H29.6.6	接遇トレーナー・ネット ワークメンバー	倫理観や他者を尊重する行動がとれるよう接遇の基本を理解し、習得する	56名	新規採用職員
	第1回院内感染対策研修会	H29.7.12	I CD 藤縄 直人	感染症予防対策研修会	233名	全職員
	第1回医療安全対策研修会	H29.9.13	SOMPO リスクアマネジメント 宮本 薫	診療録・看護記録の重要性	220名	全職員
	センター内留学	H29.11.1 ～ H30.2.15		センター職員として事業活動を理解し、仲間とコミュニケーションをとり、より良い事業展開に寄与する	53名	新規採用職員
	第2回院内感染対策研修会	H29.11.22	I CD 藤縄 直人	手指衛生の落とし穴 —あなたの手は今清潔ですか—	208名	全職員
	第2回院内感染対策研修会	H29.11.22	医療安全管理者 和田みどり副看護部長	医療安全の考え方 —医療安全文化醸成のために—	208名	全職員
	新採接遇研修(Ⅱ)	H29.12.7	接遇トレーナー・ネット ワークメンバー	接遇の基本を学び、利用者や家族の立場や思いを理解し、状況に合わせた適切な利用者対応を身につける。	53名	新規採用職員
	新規採用職員交流会	H30.1.24		1年間の学びを振り返り、各自が目標を伝え合う	48名	新規採用職員
ALL CHIBA-REHA研修	H30.1.17	船橋二和病院 リハビリテーション科 医師 関口麻理子	障害当事者であり、医療職である講師を通して、当事者は障害をどうとらえているのかを理解し、支援者は当事者の葛藤をどうとらえ支援すべきなのか、リハビリテーションに何が期待されているのかを双方の視点を併せ考える機会とする。	190名	全職員	

(3)職員研究発表会実施状況

開催日時：平成29年12月9日(土)

参加人員 91名

区分	演 題 名	所 属	発 表 者	共同研究者
セッションⅠ	脊髄損傷者に対する車いす処方状況	リハビリテーション療法部 (成人療法室理学療法科)	片山 友樹	甲斐 千尋 村山 尊司
	当センターの非外傷脊髄損傷者についての調査	リハビリテーション療法部 (成人療法室理学療法科)	甲斐 千尋	片山 友樹 村山 尊司
	経頭蓋磁気刺激(TMS)を用いた研究の紹介と今後の展望	リハビリテーション療法部 (成人療法室理学療法科)	戸坂 友也	村山 尊司 高浜 功丞 神保 和正 菊地 尚久 吉永 勝剛
	利用者主体で取り組んだ健康に関する支援についての報告 ～「更生園利用者食事委員会」の活動を通して～	更生園支援部 (生活支援科)	烏山 泰慶	
	当センターにおける腰痛発生状況とその特徴	地域連携部 (地域支援室)	太田直樹	後藤 達也 齋藤 真由美 石垣 千恵 田中 康之 飯塚 正之
セッションⅡ	親子入園前後の育児ストレスの変化と看護援助	看護部 (2B・親子棟)	津島 久美	平田 由美 柳沼 美穂 田邊 良 石井 光子 荒木 曉子
	医療ケア児への保育士の役割 ～NICUより直接入園した児への関りを通じて～	愛育園療育支援部 (児童支援科)	田丸 優	
	摂食障害の児へ保育士として取り組んできたこと	愛育園療育支援部 (療育支援科)	郡司 めぐみ	
	重症心身障害者通園における、在宅生活支援の報告 ～家庭訪問から見えたこと～	児童発達支援センター療育支援部(通園科)	成合 智子	
	短期入所の度に体調が安定しなかった1事例の看護ケアの振り返りと訪問看護との連携	看護部 (2C棟)	尾上 望	
セッションⅢ	集団レクリエーション活動の取り組み ～多職種協働、病棟を越えたレクの充実～	リハビリテーション療法部 (成人療法室作業療法科)	岡本 美希子	舌間 葉子 木村 仁美 山田 亜紗美 強口 朋美 小林 未佳 横田 翠 吉田 直子 丸山 恭史 矢倉 瑞絵 津留 良和 田中 孝直

区分	演 題 名	所 属	発 表 者	共同研究者
セン シ ョ ン Ⅲ	多職種連携による利用者のニーズに合わせた外出活動	愛育園療育支援部 (生活支援科)	星野 桃子	
	作業間における有効な疲労回復方法の検討と疲労・睡眠状況の調査	更生園 (自立支援科)	松澤 和洋	中台 梓 中島 光喜
	更生園機能訓練事業における生活の再建 ～生活困窮状態にあった方への支援について～	更生園 (自立支援科)	老川 久美江	関谷 亮太 寺内 勲
	高次脳機能障害者の生活を支えるネットワーク	高次脳機能障害支援センター	田中 葉子	

最優秀賞 更生園 鳥山 泰慶

人気賞 児童発達支援センター療育支援部 成合 智子

番号	演 題 名 ( ポ ス タ ー 発 表 )	所 属	発 表 者
1	当センターにおける外傷性脊髄損傷者の特徴 ～千葉県の疫学調査結果との比較からみえた当センターの役割～	リハビリテーション療法部 (成人療法室理学療法科)	甲斐 千尋
2	成人期の重症心身障害者の親に対するリフト導入への取り組み	リハビリテーション療法部 (小児療法室理学療法科)	金坂 一篇
3	関節周囲筋解離術後の身体変化に対して、母親と共に 移乗方法を再検討し、在宅復帰した超重症児の一例	リハビリテーション療法部 (小児療法室作業療法科)	北村 千里
4	当センター親子入園の現状と作業療法士の役割 ～アンケート調査の結果から～	リハビリテーション療法部 (小児療法室作業療法科)	三屋 邦明
5	経管栄養依存による拒食を脱した後、押しつぶし機能 以上の機能獲得に難渋したダウン症の1症例	看護部	青木 ゆかり
6	自己効力感の低い脊髄損傷患者の在宅生活自立に向けた支援	看護部 (3C棟)	霜鳥 沙織
7	患者参画型学習会の実践と今後の課題	看護部 (3C棟)	相澤 浩美
8	重症心身障害看護への不安や戸惑いとその克服要因 ～肢体不自由児施設から医療型障害児施設への転換後の 重症化への対応～	看護部 (2B・親子棟)	西山 久美子

### 1 1. 県との指定管理の状況

平成28年度から32年度までの5年間を指定管理期間とするセンターの指定管理に関する協定を締結している。

(単位：千円)

区 分	締 結 年 月 日	契 約 額	備 考
当 初 契 約	平成28年3月31日	1,263,000	

### 1 2. 県等との委託契約状況

(1) 千葉県高次脳機能障害支援普及事業に関する委託契約を締結した。

(単位：千円)

区 分	契 約 年 月 日	契 約 額	備 考
当 初 契 約	平成29年4月1日	10,000	

(2) 千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業に関する委託契約を締結した。

(単位：千円)

区 分	契 約 年 月 日	契 約 額	備 考
当 初 契 約	平成29年4月1日	780	

(3) 平成29年度小児等訪問看護師育成研修事業(千葉県)に関する委託契約を締結した。

(単位：千円)

区 分	契 約 年 月 日	契 約 額	備 考
当 初 契 約	平成29年8月8日	713	

(4) 平成29年度相談支援従事者専門コース研修(千葉県)に関する委託契約を締結した。

(単位：千円)

区 分	契 約 年 月 日	契 約 額	備 考
当 初 契 約	平成29年8月7日	399	

(5) 千葉県障害児等療育支援事業に関する委託契約を締結した。

(単位：千円)

区 分	契 約 年 月 日	契 約 額	備 考
当 初 契 約	平成29年4月1日	59	単価契約

13. 県歳入金（文書料）収入状況（平成30年3月31日現在）

（単位：円）

区 分	調 定 額	収 入 額	月 末 未 収 額
文 書 料	13,895,740	13,151,220	744,520

14. 県執行備品

No.	品 名	メーカー・規 格	数 量	備 考
1	電気メス電気手術器	メディカルネクスト	1	
2	手術台	竹内製作所	1	
3	高圧蒸気滅菌装置 （オートクレーブ）	サクラ精機	1	
4	多項目自動血球分析装置	シスメックス	1	
5	CR コンソール （画像処理ユニット）	富士フイルム	1	
6	電動シャワートローリー	ケイセイ医科	1	
7	超音波画像診断装置（眼科用）	トーマーコーポレーション	1	
8	ベッド一式（付属品含む）	パラマウントベッド他	19	



15. 苦情解決の状況

施設名	件数・回数	件	苦情（受付合計）の分類					備考
			ケアの内容に関わる事項	個人の嗜好・選択に関わる事項	財産管理・遺産・遺言等	制度・施策・法律に関わる要望	その他	
愛育園	受付件数							
	解決件数							
	第三者委員会への話し合い回数							
児童発達支援センター	受付件数							
	解決件数							
	第三者委員会への話し合い回数							
更生園	受付件数							
	解決件数							
	第三者委員会への話し合い回数							
補装具製作施設	受付件数							
	解決件数							
	第三者委員会への話し合い回数							
合計	受付件数							
	解決件数							
	第三者委員会への話し合い回数							

※ 平成29年度は、苦情の受付けなし。

16. 防災訓練等の実施状況

年 月 日	内 容	摘 要
平成29年9月21日	第1回防災訓練（地震想定） 袖ヶ浦特別支援学校との合同訓練 * 自主訓練	参加人員 入院（所）者 150名 職員 100名
平成29年12月12日	第2回防災訓練（夜間火災想定） * 消防署立会訓練	参加人員 入院（所）者 120名 職員 30名
平成30年3月8日	第3回防災訓練（昼間火災想定） * 消防署立会訓練	参加人員 入院（所）者 100名 職員 100名
平成29年9月14日 ～9月16日	第1回防災設備点検 火災報知器・消火栓・スプリンクラー・ 消火器等点検	自動火災報知器 2台 消火栓 17台 消火器 157本
平成30年3月7日 ～3月10日	第2回防災設備点検 火災報知器・消火栓・スプリンクラー・ 消火器等点検	自動火災報知器 2台 消火栓 17台 消火器 157本
平成30年1月19日	第1回防犯訓練（不審者侵入想定）	参加人員 職員 17名

## 第2 各施設・部署の概況

### 1. リハビリテーション医療施設

#### (1) 概要

リハビリテーション医療施設は、当センターの外来部門（小児・成人）及び成人の入院部門を担当し、診療部、薬剤部、リハビリテーション療法部、看護部、検査部、栄養部等医療関連部門から構成されている。

平成29年度においては、センターの使命・役割を踏まえながら利用者のニーズに的確に対応するため、次表のとおり障害者病棟、回復期リハ病棟及び一般病棟の病棟構成としている。本年度の新規入院利用者は480人、延入院利用者数は34,518人で、一日平均入院利用者数は、94.6人（一日平均入院率86.0%）であり、退院者数は479人であった。

また、外来利用者数は延べ44,999人、一日平均外来利用者数は153.6人であった。

#### 最近における医療施設の病棟区分の変遷

期 間	2 A棟		3 AB棟	3 C棟	
H18.8～ H19.12	障害者病棟（33床）		障害者病棟 （50床）	亜急性期病棟 （10床） <input type="checkbox"/>	一般病棟 （17床） <input type="checkbox"/>
H20.1～ H20.9	障害者病棟（33床） <input type="checkbox"/>		障害者病棟 （50床）	障害者病棟（27床）	
H20.10～	障害者病棟（33床） <input type="checkbox"/>		回復期リハ② 病棟（50床）	障害者病棟（27床）	
H20.11～ H21.3	一般病棟（33床） <input type="checkbox"/>		回復期リハ② 病棟（50床）	障害者病棟（27床）	
H21.4～	一般病棟 （15床）	亜急性期病棟 （18床） <input type="checkbox"/>	回復期リハ② 病棟（50床）	障害者病棟（27床）	
H21.5～	一般病棟 （15床）	亜急性期病棟 （18床） <input type="checkbox"/>	回復期リハ① 病棟（50床）	障害者病棟（27床）	
H26.10～	一般病棟（33床） <input type="checkbox"/>		回復期リハ① 病棟（50床）	障害者病棟（27床）	

※表中とは、主として整形外科及びリウマチ科疾患利用者を受け入れる病棟を表している。また、各病棟の表記は次のとおりである。

- ・障害者病棟：障害者施設等入院基本料を算定している病棟
- ・一般病棟：一般病棟入院基本料を算定している病棟
- ・回復期リハ病棟：回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している病棟であり、①は回復期リハ病棟入院料1を②は同入院料2を算定していることを表す。
- ・亜急性期病棟：亜急性期入院医療管理料を算定している病棟（2014年度診療報酬改訂において制度上廃止されている）

## (2) 施設の運営状況

## ア 月別入退院・外来の状況

(単位：人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考	
区分																
初日	在院者	92	89	88	92	99	102	90	88	85	96	100	98	1,119	1日平均	
初日	入院者	0	2	1	0	2	5	0	2	2	0	2	1	17	94.6 人	
入	院	42	44	43	43	41	42	41	33	41	33	37	40	480		
退	院	47	43	37	39	41	49	45	36	28	31	38	45	479		
末日	退院者	2	2	2	5	2	0	3	6	1	1	4	2	30		
末日	在院者数	89	89	95	102	99	99	89	89	97	99	101	93	1,141		
延	入院患者数	2,887	2,742	2,681	3,108	2,997	2,986	2,783	2,677	2,871	3,002	2,773	3,011	34,518		
外来患者数	医科	新患	63	57	82	89	65	63	86	74	91	79	59	84		892
	医科	再来	3,163	3,134	3,335	3,349	3,440	3,296	3,277	3,213	3,253	2,954	3,121	3,598	39,133	163.6 人
	歯科	新患	9	10	22	11	22	11	11	18	17	20	13	18	182	*外来日数
	歯科	再来	365	349	418	403	421	397	384	388	391	384	413	479	4,792	
	計	3,600	3,550	3,857	3,852	3,948	3,767	3,758	3,693	3,752	3,437	3,606	4,179	44,999	293 日	

## イ 診療科別の受診状況(外来)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療科目													
小児神経科	1,763	1,849	1,836	1,899	1,967	1,843	1,859	1,888	1,870	1,705	1,754	1,997	22,230
小児整形外科	430	393	491	486	465	488	454	423	473	416	468	608	5,605
リハビリテーション科	460	429	476	474	445	439	437	413	431	379	395	509	5,287
整形外科	287	250	288	281	259	306	294	265	246	228	244	250	3,178
リウマチ科	19	19	22	20	34	19	21	26	19	20	16	20	255
精神科	17	13	15	26	19	20	18	18	25	22	22	21	236
眼科	144	127	174	152	166	160	174	147	163	155	169	181	1,932
内科	14	11	12	9	15	9	10	5	14	9	12	10	130
耳鼻科	6	6	6	5	6	6	8	12	10	11	7	11	93
泌尿器科	67	76	77	73	88	67	73	71	80	70	72	57	870
皮膚科	14	16	17	16	15	10	12	16	11	14	15	14	170
麻酔科	6	3	3	7	5	1	3	3	2	4	6	4	47
歯科	374	359	440	414	443	408	395	406	408	404	426	497	4,974
合計	3,600	3,550	3,857	3,852	3,947	3,776	3,758	3,693	3,752	3,437	3,606	4,179	45,007

(注) 同一日に複数の科目を受診する患者がいるため、アの外来患者とは一致しない。

ウ 出身地別入院状況〔年度内在院者〕

	千葉							東葛南部				東葛北部				印旛						香取海匝				
	千葉市							市川市	船橋市	習志野市	八千代市	松戸市	野田市	柏市	流山市	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	銚子市	旭市	匝瑳市
	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	計																			
男性	32	16	6	25	33	9	121	4	7	2	4	5	2	3	1	4	6	7	10	1	0	1	0	1	4	0
女性	42	5	9	22	30	10	118	1	1	1	0	0	0	1	0	1	7	3	3	1	1	0	1	0	0	1
計	74	21	15	47	63	19	239	5	8	3	4	5	2	4	1	5	13	10	13	2	1	1	1	4	1	

エ 疾患別患者受入状況〔年度内在院患者〕

(単位：人)

	男性	女性	計
脳梗塞	60	34	94
脳内出血	58	24	82
くも膜下出血	11	11	22
脳腫瘍	4	2	6
頭部外傷	13	6	18
外傷性脊損	50	4	54
非外傷性脊損	19	2	21
関節リウマチ	3	3	6
変形性関節症	11	81	92
末梢神経障害	11		11
神経変性疾患	1	2	3
切断	7	3	10
骨折	18	36	54
その他	64	26	90
計	330	233	563

オ 年齢別患者受入状況

(単位：人)

	男性	女性	計
20歳未満	8	4	12
20～29	19	0	19
30～39	24	6	30
40～49	49	9	58
50～59	62	36	98
60～69	67	55	122
70歳以上	96	128	224
計	325	238	563

(単位：人)

山武長生夷隅														君津				安房		市原		県外	不明	合計
茂原市	東金市	山武市	いすみ市	大網白里市	九十九里町	横芝光町	芝山町	一宮町	長生村	白子町	長柄町	長南町	大多喜町	睦沢町	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	館山市	鋸南町	市原市			
22	6	2	7	13	6	1	2	1	3	6	5	4	2	1	6	1	1	4	3	1	37	7	1	325
18	8	2	1	7	3	5	0	3	1	1	2	2	3	1	2	1	2	3	2	0	28	3	0	238
40	14	4	8	20	9	6	2	4	4	7	7	6	5	2	8	2	3	7	5	1	65	10	1	563

## 力 疾患別退院患者状況 (年度内退院患者)

	男性	女性	計	疾患別割合	平均年齢	平均在院日数
脳梗塞	48	28	76	16.1	67.3	82.5
脳内出血	45	20	65	13.7	60.6	86.2
くも膜下出血	11	11	22	4.7	59.4	82.5
脳腫瘍	2	1	3	0.6	30.0	17.6
頭部外傷	9	4	13	2.7	43.4	65.5
外傷性脊損	37	4	41	8.7	56.7	147.7
非外傷性脊損	12	2	14	3.0	61.3	92.4
関節リウマチ	2	4	6	1.3	68.5	38.5
変形性関節症	10	77	87	18.4	70.0	35.6
末梢神経障害	8	0	8	1.7	57.8	85.5
神経変性疾患	1	1	2	0.4	75.0	119.5
切断	7	3	10	2.1	65.7	112.0
骨折	15	35	50	10.6	68.4	46.5
その他	49	27	76	16.1	60.1	58.7
計	256	217	473	100.0	63.3	71.5

(3) 各業務の概要

ア. 看護師等の配置状況

(平成29年4月1日現在)

区分	棟	定床数	看護師										生活援助員		助手					夜勤体制		備考						
			配置数	局長	部長心得	副部長	師長	副師長	看護師	臨時任用	嘱託	日々雇用	生活援助員	臨時任用	助手	臨時任用	再任用	嘱託	日々雇用	深夜	準夜							
愛育園	1B・C棟	60	36				1	2	32	1								1	1		1	4+(1)	4+(1)	夜勤の( )は 福祉職				
	2B棟・ 親子棟	32 7	21					1	2	18												2			2+(1)	2+(1)	夜勤の( )は 福祉職	
	2C棟	33	21				1	1	17	1	1											2			2+(1)	2+(1)	夜勤の( )は 福祉職	
	小計	132	78	0	0	3	5	67	2	1	0	0	0	0	2	3	1	0	1									
リハ医療施設	2A棟	33	17				1	1	15				3	1	1										2+(1)	2+(1)	夜勤の( )は 生活援助員	
	3A・B棟	50	26				1	2	23				7			1									3+(1)	3+(1)	夜勤の( )は 生活援助員	
	3C棟	27	22				1	1	19		1		7			1									2+(1)	2+(1)	夜勤の( )は 生活援助員	
	外来・手術 室中材		16				1	1	6	4	4				2	2												
	小計	110	81	0	0	4	5	63	4	5	0	17	0	3	5	0	1	0										
局長室	局長室		11	1	1	2			7																1	管理当直	※配置数には下 記の人数を含む ・育休2名 ・療休2名 ・休職2名	
	小計	0	11	1	1	2	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0										
その他	児童発達支援 センター		4						1		2	1																
	総務課、高 次脳機能障害支 援センター(入 退院調整)		兼			兼	兼	兼																				
	医療安全 管理室		1			1																						
	更生園		2				1				1																	
	小計	0	7	0	1	1	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0									
合計		242	177	1	2	3	8	10	138	6	9	1	17	0	7	8	1	1	1									

看護師合計数 177  
 生活援助員合計数 17  
 看護助手合計数 18

イ. リハビリテーション療法の実施状況

(ア) 理学療法実施状況

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	小児		1,017	1,115	1,185	1,054	1,132	1,060	1,070	1,028	1,023	1,041	967	990	12,682
	成人		2,516	2,375	2,398	2,781	2,685	2,615	2,476	2,368	2,506	2,559	2,476	2,668	30,423
外来	小児		849	805	874	881	873	887	820	848	906	793	863	1,011	10,410
	成人		123	98	107	109	101	115	106	98	84	88	76	76	1,181
合計			4,505	4,393	4,564	4,825	4,791	4,677	4,472	4,342	4,519	4,481	4,382	4,745	54,696

(イ) 作業療法実施状況

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	小児		540	569	681	654	658	629	661	615	624	580	580	612	7,403
	成人		2,277	2,074	2,161	2,485	2,441	2,283	2,169	1,998	2,189	2,295	2,151	2,335	26,858
外来	小児		414	424	458	403	446	427	436	437	484	413	448	503	5,293
	成人		53	75	71	57	73	57	66	51	60	57	51	66	737
合計			3,284	3,142	3,371	3,599	3,618	3,396	3,332	3,101	3,357	3,345	3,230	3,516	40,291

(ウ) 言語聴覚実施状況

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	小児		244	267	305	292	356	321	354	298	345	303	326	355	3,766
	成人		952	934	1,001	991	981	886	855	781	884	823	795	946	10,829
外来	小児		173	163	182	172	191	155	176	167	165	171	160	189	2,064
	成人		43	41	43	45	44	51	44	50	51	40	42	49	543
合計			1,412	1,405	1,531	1,500	1,572	1,413	1,429	1,296	1,445	1,337	1,323	1,539	17,202

(エ) 視能矯正実施状況

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	小児		6	6	11	4	10	7	4	12	5	6	5	4	80
	成人		9	11	8	12	6	7	7	21	15	14	5	9	124
外来	小児		79	58	84	93	123	50	77	82	79	83	91	98	997
	成人		75	64	89	84	62	107	98	73	94	72	71	105	994
合計			169	139	192	193	201	171	186	188	193	175	172	216	2,195

(オ) 心理発達実施状況

(単位：人)

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	小児		17	22	19	17	24	19	19	17	22	20	19	21	236
	成人		14	28	30	35	39	21	32	39	35	29	25	28	355
外来	小児		74	64	86	72	85	70	90	93	79	68	66	94	941
	成人		63	64	69	57	59	56	63	47	52	52	56	77	715
合計			168	178	204	181	207	166	204	196	188	169	166	220	2,247



ウ. 臨床検査の実施状況

(単位:件)

区分	愛育園			医療棟			更生園		外 来			外注	合計
	検体検査	細菌検査	生理検査	検体検査	細菌検査	生理検査	検体検査	生理検査	検体検査	細菌検査	生理検査		
4月	1,901	38	5	6,140	119	27	0	0	6,021	61	37	70	14,419
5月	1,407	66	4	6,697	99	33	540	0	6,576	52	36	117	15,623
6月	1,306	68	4	6,253	101	35	0	35	6,429	83	30	93	14,437
7月	1,130	49	0	7,399	145	36	0	0	5,971	58	37	184	15,009
8月	892	58	5	7,282	113	34	0	0	6,461	61	42	233	15,181
9月	933	62	3	7,801	180	29	0	0	5,140	85	27	166	14,426
10月	1,133	82	6	7,307	209	32	974	11	5,169	97	24	141	15,185
11月	923	11	0	6,360	112	27	0	23	4,855	35	11	181	12,538
12月	725	20	2	5,563	114	36	0	0	5,267	60	33	92	11,912
1月	851	11	0	6,146	135	21	0	0	5,377	53	38	140	12,772
2月	742	24	3	6,002	99	24	14	0	4,917	40	32	135	12,032
3月	983	35	4	6,591	108	36	0	0	4,997	52	23	117	12,946
合計	12,926	524	36	79,541	1,534	370	1,528	69	67,180	737	370	1,669	166,480

エ. 放射線検査の実施状況

(単位: 件)

検査種	外来 月別												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
一般撮影	876	720	882	712	815	835	755	861	702	711	721	815	9,405
ポータブル撮影数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
透視業務数	5	6	4	2	5	2	2	5	5	2	1	3	42
透視撮影数	30	20	11	10	14	1	6	6	17	6	0	2	123
透視造影数	1	0	1	3	3	1	1	3	6	0	1	2	22
動画撮影数	1	3	4	2	2	2	5	2	2	1	3	1	28
手術室業務数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CT撮影数	15	19	25	13	16	15	10	7	8	12	15	10	165
CT造影検査数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
CT画像処理	2	5	5	1	4	4	4	2	2	2	2	2	35
MRI検査数	10	8	20	7	14	6	12	9	3	10	8	9	116
MRI造影検査数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRI画像処理	1	3	0	4	11	3	6	2	1	1	6	5	43
画像ファイリング	23	28	39	25	26	20	29	26	17	20	18	33	304
コピーCD/DVD出力	39	32	52	29	35	20	40	17	22	28	23	51	388
骨密度測定数	2	7	5	5	12	7	8	10	8	8	12	10	94
計	1,005	851	1,048	813	957	916	878	951	794	801	810	943	10,767

検査種	入院・入所 月別												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
一般撮影	287	309	307	279	304	329	279	242	193	176	219	280	3,204	12,609
ポータブル撮影数	57	23	35	31	17	10	18	14	12	12	15	9	253	253
透視業務数	11	19	10	17	19	10	8	9	12	7	13	9	144	186
透視撮影数	27	31	45	22	55	30	11	30	29	26	52	33	391	514
透視造影数	9	16	10	10	16	5	9	9	14	7	10	13	128	150
動画撮影数	12	11	3	8	10	4	4	2	6	5	3	2	70	98
手術室業務数	14	29	18	13	20	29	28	14	0	6	9	20	200	200
CT撮影数	53	65	58	69	56	63	60	42	51	48	36	58	659	824
CT造影検査数	1	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	3	10	12
CT画像処理	11	7	7	10	9	6	6	2	10	9	4	12	93	128
MRI検査数	14	24	27	21	21	15	13	11	16	10	16	16	204	320
MRI造影検査数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRI画像処理	5	13	15	16	11	6	4	16	9	7	3	8	113	156
画像ファイリング	29	28	25	37	31	30	31	25	33	23	20	35	347	651
コピーCD/DVD出力	55	41	35	44	57	46	40	22	20	26	40	48	474	862
骨密度測定数	34	35	54	59	57	82	60	62	67	57	42	48	657	751
計	619	651	649	637	684	665	572	502	473	419	482	594	6,947	17,714

オ. 調剤等の実施状況

施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛 育 園	処方箋枚数	600	594	713	662	683	683	701	658	738	556	668	761	8,017
	調剤件数	2,126	1,868	2,521	2,170	2,321	2,428	2,228	2,304	2,512	1,798	2,191	2,569	27,036
	調剤延剤数	15,265	17,794	18,003	16,677	17,645	18,077	16,789	17,464	20,531	15,385	16,261	21,244	211,135
医 療 棟	処方箋枚数	887	760	961	994	917	1,067	944	887	979	837	883	1,030	11,146
	調剤件数	2,556	2,039	2,743	2,786	2,603	3,159	2,630	2,823	3,015	2,445	2,871	3,174	32,844
	調剤延剤数	21,559	16,298	21,907	20,714	20,748	24,623	20,957	21,718	26,766	19,432	22,459	25,488	262,669
施 外 設 来	処方箋枚数	37	27	32	34	33	20	29	38	35	50	55	37	427
	調剤件数	64	49	50	62	51	30	50	68	37	77	59	63	660
	調剤延剤数	580	540	424	470	439	374	718	893	261	671	406	454	6,230
合 計	処方箋枚数	1,524	1,381	1,706	1,690	1,633	1,770	1,674	1,583	1,752	1,443	1,606	1,828	19,590
	調剤件数	4,746	3,956	5,314	5,018	4,975	5,617	4,908	5,195	5,564	4,320	5,121	5,806	60,540
	調剤延剤数	37,404	34,632	40,334	37,861	38,832	43,074	38,464	40,075	47,558	35,488	39,126	47,186	480,034
薬剤管理指導 (総件数)		45	49	56	51	51	73	66	52	44	43	37	61	628
薬剤管理指導 (算定件数)		31	30	46	41	41	59	53	43	30	36	29	43	482
院外処方箋枚数		781	828	794	793	777	770	780	782	850	764	799	807	9,525
院内処方箋枚数		37	27	32	34	33	20	29	38	35	50	55	37	427
院外発行率		95.5	96.8	96.1	95.9	95.9	97.5	96.4	95.4	96.0	93.9	93.6	95.6	95.7

カ. 施設別給食実施状況

(単位：食)

	病院給食 総合療育センター 医療棟					施設給食 更生園					その他	合計
	常食	軟食	流動食	特別食	小計	常食	軟食	流動食	特別食	小計		
4月	4,894	4,096	3,093	5,094	17,177	2,153	154	0	954	3,261	704	21,142
5月	5,143	3,621	3,278	5,051	17,093	2,068	158	0	1,044	3,270	743	21,106
6月	5,036	3,607	3,386	4,586	16,615	2,024	159	0	1,041	3,224	712	20,551
7月	5,360	4,288	3,650	4,544	17,842	2,124	175	0	921	3,220	646	21,708
8月	5,501	4,698	3,295	4,366	17,860	2,313	179	0	848	3,340	666	21,866
9月	5,124	4,194	3,163	4,850	17,331	2,224	173	0	705	3,102	594	21,027
10月	5,493	4,070	3,352	4,355	17,270	2,286	165	0	607	3,058	638	20,966
11月	5,371	3,942	3,353	4,088	16,754	2,200	104	0	620	2,924	620	20,298
12月	5,590	4,236	3,590	4,182	17,598	2,250	201	0	484	2,935	656	21,189
1月	5,442	4,230	3,384	4,206	17,262	2,119	245	8	405	2,777	617	20,656
2月	4,490	4,165	3,077	4,451	16,183	2,278	236	84	277	2,875	628	19,686
3月	5,206	4,669	3,416	4,549	17,840	2,639	254	93	271	3,257	641	21,738
合計	62,650	49,816	40,037	54,322	206,825	26,678	2,203	185	8,177	37,243	7,865	251,933
平均	5,221	4,151	3,336	4,527	17,235	2,223	184	15	681	3,104	655	20,994

キ. 相談業務等の実施状況

(ア) 個別援助相談

業務内容		件数	計	
状態	入院・入園	6,755	10,433	
	外来	1,743		
	その他	1,935		
新規/継続/再	新規	1,832	10,433	
	継続	8,268		
	再	333		
対象	本人	3,538	17,253	
	家族	4,432		
	関係機関	医療機関		2,493
		行政機関		660
		福祉機関		1,844
		教育機関		93
		就労機関		81
		業者		311
		計		5,482
	職員	3,674		
その他	127			
方法	面接	8,999	17,253	
	電話	7,328		
	文書	775		
	訪問	151		
個別援助業務	受診	1,517	17,253	
	入院・入園	3,098		
	退院	1,094		
	総合療育	47		
	更生園	45		
	支援センター	41		
	療養上	7,498		
	経済	533		
	就労	218		
	住宅	544		
	教育	17		
	家族	102		
	日常生活	2,312		
	心理	11		
	人権	5		
	その他	171		
援助時間	30分以下	7,944	10,433	
	30分~60分	1,707		
	60分以上	782		

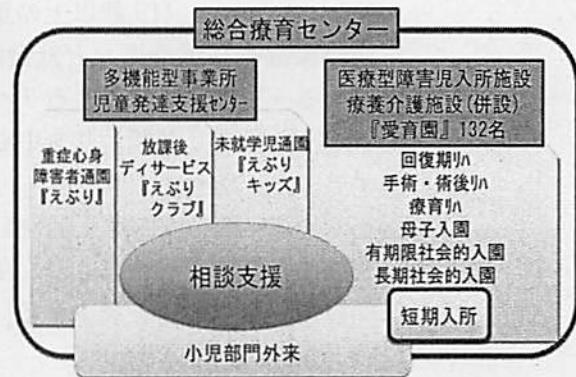
(イ) その他

業務内容		件数	計
グループワーク		26	26
間接業務 ソーシャル ワーク	社会資源開拓		12,270
	クライアント処遇会議	1,183	
	ケース記録	10,559	
	情報収集・資料整理	528	
地域支援事業	高次脳機能障害支援センター	54	64
	介助犬認定事業		
	地域リハ総合支援事業		
	情報センター事業		
	地域療育事業		
	損保協会講習会	3	
	公開講座		
	その他	7	
関連業務	研修・研究	184	296
	教育・実習	112	
	ボランティア		
部、各施設 に関わる業 務	地域連携部	2,826	4,309
	更生園	13	
	愛育園・陽育園	7	
	医療施設	1,463	
センターの 管理運営に かかる業務 等	センター企画運営会議	7	102
	第一グループ委員会		
	第二グループ委員会		
	センターミーティング	41	
	行事企画運営・参加		
	他部門との調整		
	リスクマネジメント委員		
	ケアマネジメント委員		
	経営改善に関する業務		
	電子カルテに関する業務		
	クリニカルパス委員会	3	
	成人病検会議	14	
	発達障害		
その他	37		
福祉局	福祉局運営会議	6	61
	その他	55	
合計			17,128

## 2. 総合療育センター

### (1) 概要

総合療育センターは児童福祉法の改正に伴い、平成24年4月1日より、千葉県の子育て支援の中心的な役割を果たすために組織改編し、障害児及び小児期発症の障害者に対して、外来診療の他、入園、通園、短期入所、相談支援を実施し、地域社会の一員として、健康で文化的な生活ができるように、療育サービスを包括的に提供している。



### (2) 愛育園

#### ア 概要

平成24年4月より、肢体不自由児施設であった愛育園と、重症心身障害児施設であった陽育園が一つの施設となり新しい愛育園となった。新しい愛育園は、児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設と、障害者総合支援法に基づく療養介護施設と2つの機能を持っている。愛育園では、運動機能に障害のある児に対して、入園して集中的な療育を行い、成長発達を促すとともに生活の質の向上を目指している。また、継続的な在宅生活が困難な重症心身障害者に対しては、長期入園により医療的な配慮を行いながら、年齢にふさわしい生活支援と療育を提供している。

#### (ア) 入園目的と病棟の構成

##### a. 回復期リハ入園：2B棟

中途障害児の機能回復リハビリを行い、地域社会へ移行できるように支援する。リハビリを濃厚に行うとともに、地域との連携を早くから取り、家族や本人に地域在宅生活のイメージが持てるような援助を行う。

##### b. 手術関連入園：2B棟

整形外科手術および手術前後のリハビリと評価をおこなうための入園。子ども病院等他院で実施した手術後の機能回復入園も含まれる。リハビリを濃厚に行う。

##### c. 療育リハ入園：2B棟

発達障害児の発達過程において、入園による集中リハビリや指導が必要と思われるケースについて、明確な目的をもって、3～6ヶ月の短期間、リハビリを濃厚に実施する。

##### d. 親子入園：親子棟

療育の初期指導を行うために、療育者と障害児が一緒に入園して、他の家族と入園生活を共にしながら、障害児の子育てに必要な保育やリハビリや医療管理を8週間集中的に行う。

##### e. その他の医療入院：2B棟・2C棟・1BC棟

外来でフォローしている障害児者の治療および検査入院。

##### f. 有期限社会的入園：2B棟・2C棟・1BC棟

母親の出産や家族の入院など家族の一時的な理由により、在宅生活ができない障害児に対して有期限で生活の場を提供する。リハ療法部によるリハビリは必要最小

限。病棟職員による生活援助の中で、障害を考慮した関わりを中心とする。

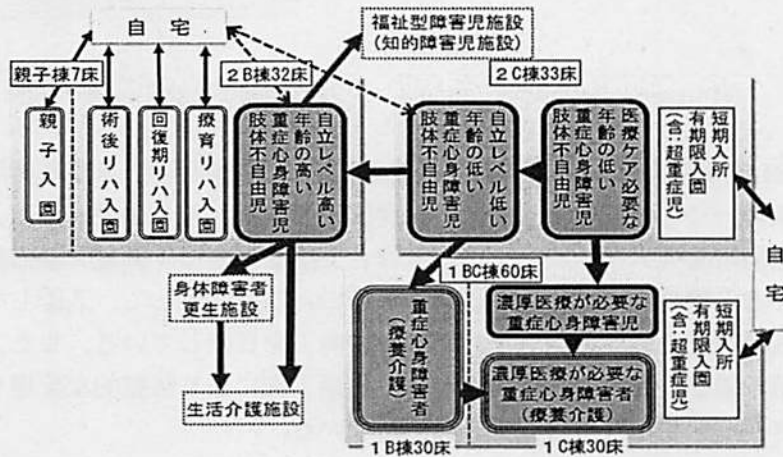
g. 長期社会的入園：2C棟・1BC棟

(18歳以上の重症心身障害者は療養介護事業として受け入れる)

崩壊家庭や被虐待児など社会的に保護しなければならない障害児に生活の場を提供する。リハ療法部によるリハビリは必要最小限。病棟職員による生活援助の中で、障害を考慮した関わりを中心とする。児相との連携の元に、家族との絆を再構築する。

h. 短期入所：2B棟・2C棟・1BC棟

家族の一時的な理由により、在宅生活ができない障害児に対して短期間（原則1週間以内）生活の場を提供する。



イ 施設の運営状況

(ア) 総括

a. 入退園の状況 (月別)

(単位：人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一契約保・ 護措置 入園・	入園	12	5	8	11	14	13	4	11	0	10	1	11	100
	退園	4	12	6	15	13	8	13	4	10	3	7	12	107
	延入園児者数	3,292	3,480	3,285	3,320	3,399	3,244	3,361	3,207	3,306	3,213	2,933	3,307	39,347
	1日平均入園児者数	106.2	112.3	109.5	107.1	109.6	108.1	108.4	106.9	106.6	103.6	104.6	106.7	107.8
保険入院	入院	1	2	0	1	3	2	2	0	6	1	2	1	21
	退院	3	1	1	1	3	1	0	1	4	1	2	5	23
	延入院児者数	152	132	96	93	98	104	148	180	201	209	185	174	1,772
	1日平均入院児者数	4.9	4.3	3.2	3	3.2	3.5	4.8	6	6.5	6.7	6.6	5.6	4.9
短期入所	入所	64	42	79	79	92	74	77	77	79	76	74	84	897
	退所	68	42	80	79	90	73	79	77	78	80	72	79	897
	延入所児者数	313	307	344	390	440	379	405	379	418	350	358	409	4,492
	1日平均入所児者数	10.1	9.9	11.5	12.6	14.2	12.6	13.1	12.6	13.5	11.3	12.8	13.2	12.3
延入園児者数合計		3,757	3,919	3,725	3,803	3,937	3,727	3,914	3,766	3,925	3,772	3,476	3,890	45,611
1日平均入園児者数		125.2	126.4	124.2	122.7	127	124.2	126.3	125.5	126.6	121.7	124.1	125.5	125

b. 利用目的別延利用者数 (月別)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回復期リハ入園	88	84	90	85	149	150	179	240	245	248	224	227	2,009
手術関連入園	196	232	152	137	143	82	134	120	111	68	28	47	1,460
療育リハ入園	51	108	114	69	68	129	81	47	31	86	86	151	1,021
親子入園	181	210	148	147	202	155	182	175	189	159	196	183	2,127
その他の医療入院	64	46	30	31	11	1	0	0	18	5	17	32	255
有期限社会的入園	60	48	60	62	62	67	62	49	60	31	28	31	620
(療養介護)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
(重症心身障害児)	30	17	30	31	31	30	31	19	29	0	0	0	248
(重症・重度重複肢体不自由児)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(肢体不自由児)	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7
養護性社会的入園	2,804	2,884	2,787	2,882	2,862	2,764	2,871	2,756	2,853	2,825	2,539	2,810	33,637
(療養介護)	1,538	1,581	1,530	1,581	1,581	1,523	1,581	1,530	1,581	1,581	1,428	1,581	18,616
(重症心身障害児)	948	1,023	1,004	1,054	1,024	995	1,039	1,000	1,054	1,027	924	1,023	12,115
(重症・重度重複肢体不自由児)	150	125	120	155	155	150	155	150	124	124	112	124	1,644
(肢体不自由児)	150	155	133	92	92	64	62	60	93	93	75	82	1,151
一時保護委託	18	0	0	0	10	32	34	16	1	0	0	0	111
短期入所	313	307	344	390	440	379	405	379	418	350	358	409	4,492
合計	3,757	3,919	3,725	3,803	3,937	3,727	3,914	3,766	3,925	3,772	3,476	3,890	45,611
1日平均入園児者	125.2	126.4	124.2	122.7	127	124.2	126.3	125.5	126.6	121.7	124.1	125.5	125

(イ) 利用児者の状況 (利用目的別)

a. 有目的入園者46名の状況 (単位：名)

(a) 障害福祉圏域

圏域	千葉	船橋	柏	習志野	市川	松戸	野田	印旛	香取	海浜	山武	長生	夷隅	君津	市原	安房	県外	計	
	11	5	3	3	2	5	0	2	2	0	1	2	1	2	3	3	3	1	46

(c) 年齢分布

年齢区分(歳)	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~	計
回復期リハ	0	0	2	1	2	5	0	10
手術関連	0	1	1	7	5	3	2	19
療育リハ	0	7	5	1	2	1	1	17
計	0	8	8	9	9	9	3	46

(d) 超重症児スコア

	回復期リハ	手術関連	療育リハ	計
超重症児	0	1	0	1
準超重症児	4	4	2	10
計	4	5	2	11

(b) 障害の原因：疾病の分類

障害の原因		回復期リハ	手術関連	療育リハ	計
先天性	染色体異常・多発奇形	0	1	3	4
	代謝・筋・神経変性疾患	0	0	1	1
	その他の先天性疾患	0	3	5	8
周期脳障害		0	11	7	18
後天性	脳炎・脳症	0	2	1	3
	低酸素性脳症	2	1	0	3
	外傷性・血管性脳障害	8	0	0	8
脊髄炎・脊髄損傷		0	0	0	0
てんかん性・原因不明		0	0	0	0
整形外科疾患		0	1	0	1
計		10	19	17	46

超重症児スコアとは

障害の重症度を表す指標であり、下記の3つの条件を全て満たす場合、超重症児と判定する。

①運動機能は座位まで

②呼吸管理、食事機能、胃・食道逆流の有無、補足項目(体位変換、定期導尿、人工肛門など)の各々のスコアの合計が25点以上であること

③その状態が6ヶ月以上続く

※準超重症児とは、超重症児に準ずるもので、②の各々のスコアが10点以上25点未満である場合を指す。



b. 親子入園者48名の状況(単位:名)

(a) 障害福祉圏域

圏域	千葉	船橋	柏	習志野	市川	松戸	野田	印旛	香取	海浜	山武	長生	夷隅	君津	市原	安房	県外	計
	6	7	1	6	11	4	0	6	1	2	0	1	0	1	1	1	0	48

(c) 年齢分布

年齢区分(歳)	0	1	2	3	4	5	6	計
	0	10	12	6	11	7	0	48

(d) 超重症児スコア

超重症児	2
準超重症児	7
計	9

(b) 障害の原因: 疾病分類

先天性	染色体異常・多発奇形	8
	代謝・筋・神経変性疾患	2
	その他の先天性疾患	7
周産期脳障害		19
後天性	脳炎・脳症	6
	低酸素性脳症	2
	外傷性・血管性脳障害	1
	脊髄炎・脊髄損傷	0
てんかん性・原因不明		3
計		48

c. その他医療入院13名の状況(単位:名)

(a) 障害福祉圏域

圏域	千葉	船橋	柏	習志野	市川	松戸	野田	印旛	香取	海浜	山武	長生	夷隅	君津	市原	安房	県外	計
	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	13

(c) 年齢分布

年齢区分(歳)	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~	計
	0	1	0	1	2	1	8	13

(d) 超重症児スコア

超重症児	2
準超重症児	4
計	6

(b) 治療・検査内容

肺炎	3
癒後重積	2
骨折	2
胃食道逆流症	1
過緊張	1
関節内腫瘍	1
マスク式呼吸器導入	1
経管栄養導入	1
医療ケア見直し	1
計	13

d. 社会的入園児者111名の状況(単位:名)

(a) 障害福祉圏域

圏域	千葉	船橋	柏	習志野	市川	松戸	野田	印旛	香取	海浜	山武	長生	夷隅	君津	市原	安房	県外	計
	30	15	2	8	3	6	0	14	3	1	4	3	2	7	7	2	4	111

(b) 障害の原因: 疾病分類

障害の原因		18歳未満	18歳以上	計
先天性	染色体異常・多発奇形	7	4	11
	代謝・筋・神経変性疾患	2	6	8
	その他の進行性疾患	5	9	14
周産期脳障害		21	15	36
後天性	脳炎・脳症	3	7	10
	低酸素性脳症	6	3	9
	外傷性・血管性脳障害	12	6	18
	脊髄炎・脊髄損傷	0	0	0
てんかん性・原因不明		0	4	4
整形外科疾患		1	0	1
計		57	54	111

(c) 超重症児スコア

	18歳未満	18歳以上	計
超重症児	7	16	23
準超重症児	9	15	24
計	16	31	47

(d) 年齢分布

年齢区分 (歳)	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~23	24~26	27~29	30~32	33~35	36~38	39~41	42~	計
有目的有期限入園	0	2	3	3	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	18
養護性・長期入園	5	3	6	10	7	10	13	8	6	5	6	6	3	5	93
計	5	5	9	13	11	14	15	8	6	5	6	6	3	5	111

e. 短期入所児者 235名/897件の状況 (単位: 件)

(a) 障害福祉圏域

圏域	千葉	船橋	柏	習志野	市川	松戸	野田	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	君津	市原	安房	県外	計
	348	34	2	50	24	28	0	70	16	0	41	64	29	79	103	9	0	897

(b) 利用理由

	18歳未満	18歳以上	計
介護疲れ・休養	198	228	426
家族の入院・通院・介護	78	33	111
家の用事	65	54	119
冠婚葬祭	24	16	40
兄弟の行事	48	10	58
旅行・帰省	39	12	51
体験入所	21	1	22
仕事の都合	44	8	52
その他	9	9	18
計	526	371	897

(c) 超重症児スコア

	18歳未満	18歳以上
超重症児	49人/238件	7人/46件
準超重症児	37人/183件	19人/184件
計	86人/421件	26人/230件
内呼吸器管理	43人/213件	7人/39件

(d) 年齢分布

年齢区分 (歳)	0~2	3~5	6~8	9~11	12~14	15~17	18~23	24~26	27~29	30~32	33~35	36~38	39~41	42~	計
	19	119	110	119	107	87	149	37	30	42	49	19	10	0	897

(3) 児童発達支援センター

ア 概要

平成24年4月から、児童福祉法及び障害者総合支援法に基づく医療型児童発達支援センター「児童発達支援センター」を設置し、重症心身障害児者の通園事業及び相談支援事業等を実施している。

イ 施設の運営状況

(ア) 通園事業

名称	定員	サービス内容
えぶり (成人通園)	5名	濃厚な医療ケアが必要な重症心身障害者に日中活動の場を提供し、在宅生活を支援することで生活に潤いを提供する。
えぶりキッズ (未就学児通園)	5名	発達の遅れや重度の運動障害のある乳幼児期の児に、家族と一緒にいる集団遊びや個別訓練などの療育の機会を提供することで成長発達を促す。
えぶりクラブ (放課後等 デイサービス)	5名	濃厚な医療ケアが必要な就学児に、リラックスできる時間や仲間と過ごす楽しい余暇活動を提供するとともに、家族にレスパイトケアを提供する。

a. 通園事業の実施状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
えぶり	延利用者数	97	96	101	81	101	94	99	89	90	79	87	96	1110
	稼働率	97.0%	96.0%	91.8%	81.0%	91.8%	94.0%	94.3%	89.0%	94.7%	87.8%	91.6%	91.4%	91.7%
	1日平均利用者数	4.9	5	4.7	4.3	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7
キッズ	延利用者数	92	101	115	91	83	100	108	95	96	81	117	97	1176
	稼働率	92.0%	101.0%	104.5%	91.0%	92.2%	100%	103%	95.0%	120.0%	90.0%	123.2%	88.2%	99.7%
	1日平均利用者数	4.6	5.1	5.6	5.1	4.4	5	5	4.8	6.1	4.6	5.8	6.1	5.1
クラブ	延利用者数	36	38	48	43	40	45	40	48	52	38	57	56	541
	稼働率	36.0%	38.0%	43.6%	43.0%	36.4%	45.0%	38.1%	48%	57.8%	42.2%	60%	53.3%	44.9%
	1日平均利用者数	2	2.3	2.3	2.5	2.7	2.8	2.9	2.5	3.1	2.6	3	3.3	2.6

b. 障害福祉圏域

(単位：人)

	千葉	船橋	柏	習志野	市川	松戸	野田	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	君津	市原	安房	県外	計
えぶり	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	13
えぶりキッズ	16	0	0	1	1	0	0	9	1	0	2	1	0	4	5	3	1	44
えぶりクラブ	18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	7	0	0	28
計	43	0	0	1	1	0	0	10	1	0	4	1	1	4	15	3	1	185

c. 障害の原因：疾患分類 (単位：人)

		えぶり	えぶりキッズ	えぶりクラブ	計
先天性	染色体異常・多発奇形	0	14	8	22
	代謝・筋・神経変性疾患	1	5	3	9
	その他の先天性疾患	3	12	3	18
周産期脳障害		5	7	9	21
後天性	脳炎・脳症	2	3	1	6
	低酸素性脳症	2	2	2	6
	外傷性・血管性脳障害	0	1	2	3
	脊髄炎・脊髄損傷	0	0	0	0
てんかん性・原因不明		0	0	0	0
計		13	44	28	85

d. 超重症児スコア (単位：人)

	えぶり	えぶりキッズ	えぶりクラブ	計
超重症児	4	11	16	31
準超重症児	8	12	9	29
計	12	23	25	60

e. 医療的ケアの状況 (単位：人)

	えぶり	えぶりキッズ	えぶりクラブ	計
人工呼吸器	4	10	13	27
気管切開	8	16	20	44
在宅酸素	3	9	13	25
経管栄養	13	24	26	63
計	28	59	72	159

f. 年齢分布 (単位：人)

年齢区分(歳)	きぶりキッズ			えぶり				えぶりクラブ			計
	0~2	3~4	5~6	18~20	21~25	26~30	31~	7~12	13~15	16~18	
	2	20	22	3	2	3	5	18	6	4	85

(イ) 相談支援事業

a. 実績数

相談件数	8,104
実人数	804

b. 年齢

未就学(0~6)	331
学齢期(7~18)	309
成人(18歳以上)	159
その他	5
計	804

c. 方法

面談	3,312
電話	3,700
メール・FAX	178
同行	272
訪問	511
会議(内部)	99
会議(外部)	32
その他	0
計	8,104

d. 内容

愛育園入園	480
短期入所	309
親子入園	1,639
通園利用	102
計画相談	1,230
外来受診	332
地域福祉	1,155
補装具	428
教育	419
経済(手当等)	167
手帳	123
地域医療	540
住宅	24
就労	13
その他	1,143
計	8,104

e. 障害福祉圏域

千葉	268
船橋	50
柏	15
習志野	45
市川	35
松戸	25
野田	1
印旛	88
香取	5
海匝	9
山武	38
長生	22
夷隅	8
君津	43
市原	54
安房	12
県外	26
不明	60
計	804

f. 障害種別

重症心身障害	410
(内準超重症)	82
(内超重症)	78
(内呼吸器使用)	92
重心ではない呼吸器使用	12
肢体不自由	268
発達障害	45
知的障害	44
内部障害	7
四肢に障害のない医療的ケア	9
高次脳機能障害	33
その他	47
計	1,127

### 3. 更生園

#### (1) 概要

更生園は障害者総合支援法の第5条に基づく障害者支援施設として施設入所支援を行うとともに、以下の施設障害福祉サービス(表1)を提供している。障害があってもその人らしく地域で暮らし、学び、働くために自立(自律)することを目指す者に対して、地域生活移行支援、就労移行支援プログラムを展開する社会リハビリテーション施設である。

【表1 施設障害福祉サービス一覧】

種 別	主な対象者	定員
自立訓練・機能訓練	肢体不自由を有し身体障害者手帳を取得された者	36名
自立訓練・生活訓練	肢体不自由を伴わない高次脳機能障害を有する者	10名
就労移行支援	肢体不自由・高次脳機能障害を有する者	10名
施設入所支援	肢体不自由・高次脳機能障害を有する者でサービスを利用するに当たり、何らかの理由により自宅から通うことが困難な者	56名
短期入所事業	肢体不自由・高次脳機能障害を有する者	空床利用

平成29年度在籍者は109人、事業別では機能訓練事業67人、生活訓練事業19人、就労移行支援23人であった。

項目	A		B	C	D	E	F	利用総数 A+B-C+D	
	前年度からの継続利用	新規利用者	利用形態の変更(退)	利用形態の変更(入)	退所者	次年度への継続入所者 A+B-C+D-E			
事業別	機能訓練	入所	34	29	1		28	34	62
		通所	3	3		1	4	3	7
	生活訓練	入所	10	5	1		6	8	14
		通所	0	2		1	1	2	3
	就労移行	入所	1	1	1	1	1	1	2
		通所	10	11	1	1	12	9	21
合計(人)		58	51	4	4	52	57	109	

(2) 施設の運営状況

ア 月別入退所の状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考	
支 援 入 所	初日在籍者	45	45	44	43	44	42	40	39	42	39	41	41	505	1日 平均 入所 者数  51 (人)
	(内) 初日入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	入所	2	2	2	3	3	2	1	4	3	3	4	4	33	
	退所	2	3	3	2	5	4	2	1	6	3	3	3	37	
	月末在籍者	45	47	44	44	44	41	40	42	39	41	43	43	513	
	延入所者	1,358	1,407	1,295	1,325	1,375	1,295	1,266	1,186	1,259	1,234	1,184	1,304	15,488	
短期 入所	月入所者	2	3	4	4	3	5	6	5	5	5	3	5	50	
	延入所者	14	13	18	12	12	21	45	24	45	36	22	45	307	
通所 利用	月利用者	14	15	13	14	12	14	15	14	11	12	13	14	161	
	延利用者	230	239	248	215	199	204	240	236	218	187	205	220	2,641	
延入所者数		1,602	1,659	1,561	1,552	1,566	1,520	1,551	1,446	1,522	1,457	1,411	1,569	18,436	
体 験 利 用	月入所者	2	2	3	7	2	2	1	3	2	2	2	2	30	
	延入所者	8	15	19	35	4	17	10	7	4	4	4	4	131	
	(内) 特別 支援学 校生	0	0	1	2	2	0	0	1	1	0	1	0	8	
	(内) 特別 支援学 校生 延数	0	0	2	3	4	0	0	2	2	0	2	0	15	

イ 年度内在籍者の住所地区別状況

(3事業在籍者合計109名中サービス移行等をした5名を除く104名)

(単位：人)

市 町 村														県 外	合 計														
千 葉 市	市 原 市	市 川 市	船 橋 市	習 志 野 市	我 孫 子 市	鎌 ヶ 谷 市	木 更 津 市	袖 ヶ 浦 市	松 戸 市	茂 原 市	い す み 市	成 田 市	佐 倉 市			東 金 市	柏 市	流 山 市	八 千 代 市	鉾 子 市	大 網 白 里 市	山 武 市	四 街 道 市	八 街 市	匝 瑛 市	香 取 郡	印 旛 郡	長 生 郡	
28	10	1	8	2	1	2	1	1	6	1	2	2	3	2	2	1	3	2	3	1	2	2	2	1	2	2	1	12	104

ウ 月別退所状況

(ア) 3事業合わせた退園者50名の帰結 (事業移行者1名 入院1名を除く)

(単位:人)

区分	月													合計	備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
家庭復帰(単身)		3		2	2		2	2	1	1		2	15	} 地域移行	
家庭復帰(同居)		1	5	2	3	1	2	1	5	1	5	1	27		
グループホーム		2				1			1				4		
生活介護施設	1												1		
老人施設				1		1			1				3		
合計	1	6	5	5	5	3	4	3	8	2	5	3	50		

(イ) 3事業合わせた退園者 52名の社会参加状況

(単位:人)

区分	月													合計	備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
新規就労		1	3	1	1	1	2	1	2		1	1	14	} 内当該施設内での移行 3名 当該施設内での移行	
復職		1	1		1					1	1		5		
就労継続B		2	1						1				4		
就労移行支援		1		2				1			1		5		
自立訓練(生活訓練)										1			1		
地域活動支援センター													0		
日中活動なし		1		1	2	1	2	1	4	1	2		15		
その他	1			1	1	1			1	1		2	8		
合計	1	6	5	5	5	3	4	3	8	4	5	3	52		

エ 3事業合せた29年度内在籍者 109名の病類別・性別・年齢別状況

病類別	20歳未満		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60歳以上		計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
脳性麻痺	2	1	1										3	1	4
脳血管疾患			3		8	7	19	8	18		1		49	15	64
頭部外傷	1	4	6	5	2		2	1	1				12	10	22
脊髄損傷					1		2		3		3		9		9
その他	2	2		1	1	1	1		2				6	4	10
計	5	7	10	6	12	8	24	9	24		4		79	30	109

#### 4. 補装具製作施設

##### (1) 概要

身体障害児・者に対して、日常生活および職業の能率向上を図るため、補装具の製作又は修理を行った。

##### (2) 施設の運営状況

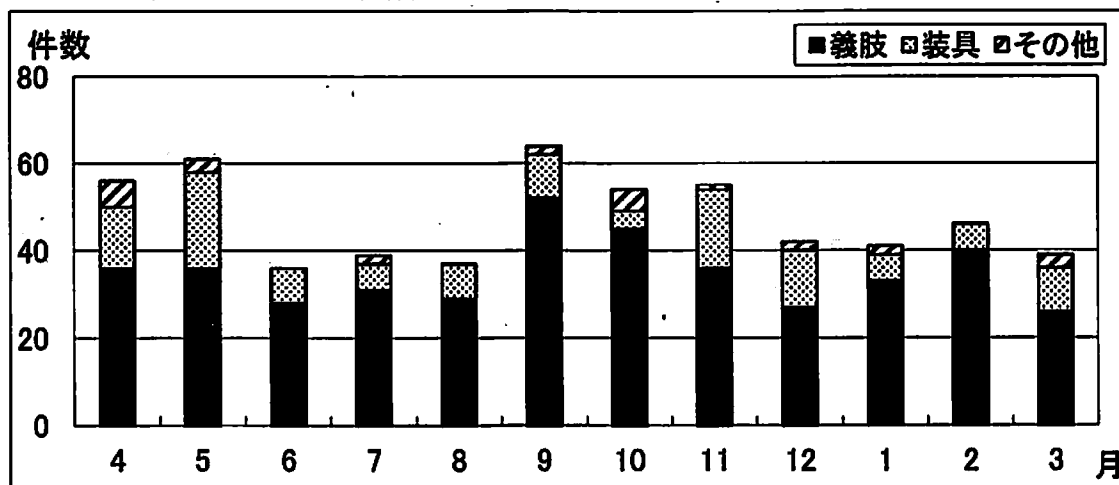
###### ア. 製作・修理等の実施状況

(単位：件)

区分	施設名	愛育園	更生園	医療施設		合計
				入院	外来	
製作・修理	実数	33	4	226	233	496
	実施総数	53	4	256	288	601
委託	実数	34	1	70	343	448
	実施総数	60	1	90	582	733
計	実数	67	5	296	576	944
	実施総数	113	5	346	870	1334

※実施総数：製作・修理件数（外注を含む）

###### イ. 月別実施状況(センター内製作)



※義肢・装具：製作、修理、調整　その他：自助具、備品等の修理

###### ウ. 義肢・装具作製内訳(センター内製作)

大腿義足(股・膝義足を含む)：20本。下腿義足(足根中足骨義足を含む)：19本。

義手：8本。装具(ローテーションプラスチック用膝装具を含む)：4本。



## 5. 高次脳機能障害支援

### (1) 概要

千葉リハセンターは平成13年度開始の厚生労働省による「高次脳機能障害支援モデル事業」に全国13拠点機関の一つとして参加。「モデル事業」終了後の平成18年度からは「高次脳機能障害支援普及事業」と「高次脳機能障害支援センター事業」の委託を受け、千葉県高次脳機能障害支援拠点機関として、2ヶ所の地域支援拠点機関と協力して当事者・家族・支援者支援を行っている。センター内においては、各部署、各施設が横断的に関わることで、小児から成人までの当事者に対し、総合的に高次脳機能障害支援を実施している。

### (2) 事業の実施状況

#### ア. 千葉県高次脳機能障害支援普及事業

厚生労働省の補助事業である本事業は、「高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援・関係機関との支援ネットワークの充実・高次脳機能障害の正しい理解を促進するための普及/啓発事業・高次脳機能障害者の支援技法等に関する研修会の開催などを行い、支援体制の確立を図ることを目的とする事業」である。県内を中心に事業を展開し、高次脳機能障害の認知度向上とニーズの掘り起こしが進んでいる。また、全国からの小児期発症当事者支援や自動車運転再開支援等についての視察や講演依頼にも対応している。

#### イ. 高次脳機能障害支援センター事業

千葉県から委託されている本事業は、「高次脳機能障害者の社会復帰に向けた、より専門的かつ個別的な支援ニーズへの対応を目的とした事業」である。専門的で長期的な支援を必要とする高次脳機能障害当事者への支援は非常に個別性が高く、また医療以降の支援が途切れやすい。適切な就労、社会参加につなげるために、高次脳機能障害支援センターでは、個別相談、社会適応のための集団活動、家族支援、地域支援を行い、直接支援及び間接支援に取り組んでいる。

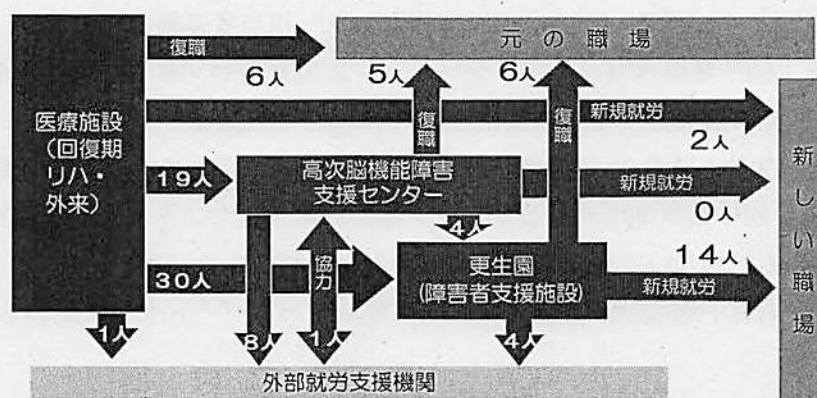
#### ウ. 自動車運転再開支援

脳損傷後の自動車運転再開は当事者の社会参加にとって非常に重要な課題である。千葉リハセンターは2009年度から自動車教習所と連携し運転再開支援を実施している。最近では県内の複数の医療機関から困難事例やセカンドオピニオン希望の当事者の紹介が増加している。このような中、今年度は74名(実数)の運転再開を希望する当事者に対して、自動車教習所にて延べ159回の支援を実施した。医師、作業療法士、ソーシャルワーカー等によるカンファレンスの結果、医療機関として最終的に運転再開可能と判断した当事者は55名であった。

## エ. 就労支援

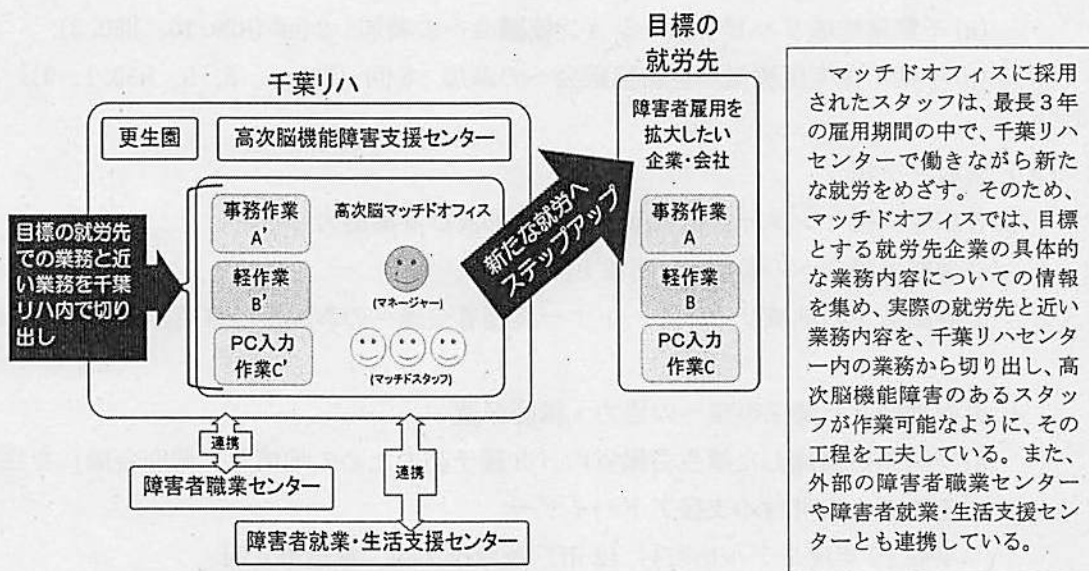
就労を希望する当事者が多い一方、復職や新規就労に至るには様々な課題を解決する必要があることが多い。障害認識を深め、生活基盤を確立するなど、いわゆる土台部分を培ったうえで職業生活へのチャレンジを行う必要がある。また、就労しても理解のある上司・同僚の異動など、職場環境の変化により離職につながる当事者も多い。安定した職業生活を維持するための支援も重要となっており、千葉リハセンターでは、更生園を中心に就労移行支援及び就労定着支援を積み重ねている。

医療施設、高次脳機能障害支援センター、更生園が連携し、医学的リハ・社会リハ・職業リハを当事者毎に対応して提供しており、これらのセンター全体にわたる支援の連携の結果、平成29年度は復職17名、新規就労16名の実績であった。



## オ. 高次脳マッチドオフィスの開設

千葉リハセンターの長年にわたる高次脳機能障害への支援実績を活かし、平成29年10月に、高次脳機能障害者のチャレンジ雇用「高次脳マッチドオフィス（以下、マッチドオフィスという。）」を開設した。



## 6. 地域連携等

### (1) 地域連携部（地域連携室）

地域支援室（地域支援室）では、縣市町村をはじめとする様々な組織・機関と連携を図り、障害のある人や高齢者、そしてその家族の「よりよい暮らし」の実現を目指した支援を行っている。具体的には千葉県から地域リハビリテーション支援体制整備推進事業を受託し、県内2次保健医療圏域ごとに設置されている地域リハビリテーション広域支援センターへの助言や研修会等への人的支援、情報提供そして職能団体や様々な関係機関との調整を行っている。また、そのほか、当センター公開講座、日本損害保険協会からの助成事業、介助犬認定事業等を行っている。

### ア. 千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業

#### (ア) ネットワーク事業

##### a. 地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議の開催

###### 第1回千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議

H29.4.25(火) 千葉市文化センター 2、3会議室

内容：平成29年度事業計画、地域リハビリテーション出前講座の実施等

###### 第2回千葉県地域リハビリテーション広域支援センター担当者連絡会議

H30.3.14(水) 千葉県教育会館 本館2階203会議室

内容：地域リハ共通資料、ちば地域リハ・パートナーに関わる人材育成等

##### b. 在宅リハの連携に係る連絡体制の整備

メーリングリストを作成し在宅リハネットワークの連絡体制を構築している。

登録数：227件（医療施設、介護保険サービス提供事業所、訪問看護師ステーション、地域包括支援センター等）

##### c. 各種会議への参加

(a) 千葉県地域リハビリテーション協議会への参加 2回（H29.10、H30.3）

(b) 千葉市在宅医療推進連絡協議会への参加 5回（H29.4、5、9、H30.1、3）

### (イ) 育成・支援

#### a. 各広域支援センター連絡協議会への参加及び事業協力

(a) 連絡協議会への参加：7圏域10回

(b) 各圏域での地域リハ・パートナー実務者会議への参加及び事業協力：7圏域9回

#### b. 県内地域リハ関係事業への協力・講師派遣

(a) 千葉県が実施した厚生労働省の「介護予防のための地域ケア個別会議」を立ち上げるモデル市町村の支援アドバイザー

平成29年度モデル市町村（2市）茂原市3回、富津市4回

(b) 第2回介護予防事業従事者研修（主催：千葉県高齢者福祉課）7回

(c) 市町村事業協力：11 回

(d) 地域包括支援センターへの事業協力：6 回

(ウ) 啓発・情報提供

a. ホームページの更新

内容：ホームページを活用し、本事業の情報発信及び災害リハに関する平時の取り組みについての情報提供を行っている。

b. 平成 29 年度地域リハビリテーション出前講座の実施

県主催で専門職と協力し、地域リハビリテーション教育の機会を希望する小学校（千葉県内の公立小学校に通う 4 年生から 6 年生）を対象に実施した。

訪問先合計：11 校 参加児童合計：801 名

イ. 福祉機器展示室 運用実績

福祉機器展示室の効果的な運営を目指し、テクノエイドワーキングを月 2 回開催し、センター内での福祉用具活用方法や利用方法、展示室の今後のあり方を検討した。また、今年度は今後の方針を検討するためコアメンバー会議を開催した。

展示室の利用回数は合計 247 回であり、延べ利用者数は 773 名であった。利用目的は患者へ試用 135 件（54.6%）が最も多く、次いで用具返却 31 件（12.5%）、外部見学 18 件（7.2%）であった。試用した物品は、移乗用リフト 49 件（19.8%）が最も多く、次いで車いす 40 件（16.1%）、移乗用具（移乗用リフトを除く）21 件（8.5%）であった。

ウ. 千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会

東日本大震災の発生後、日本リハビリテーション医学会をはじめとするリハビリテーション支援関連 10 団体が合同で被災地支援を行い、その後、この組織は「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（Japan Rehabilitation Assistance Team、通称：JRAT）」と改称し、平時から災害リハビリテーション関係の事業を行っている。

JRAT ではマニュアルの作成、災害発生時に人や物の手配を行う「コーディネーター」となる人材の育成、都道府県ごとのネットワークの構築を推進し、災害に対する備えを進めている。

千葉県では、平成 27 年 3 月から地域連携部（現：地域リハ推進部）が事務局となりリハビリテーション関連職能団体の代表者、責任者と定期的に協議を行い、平成 27 年 9 月 8 日に「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）」が発足した。これにより、災害リハビリテーションに関する具体的な活動を踏み出すこととなった。

C-RAT においては、当センターは事務局及び構成団体として次のとおり会議を開催し参加した。

また、C-RAT の活動の一環として、平成 29 年 8 月 26 日（土）に匝瑳市そうさ記念公園にて第 38 回九都県市合同防災訓練に参加し、平成 30 年 1 月 27 日（土）には、第 3

回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会を千葉県教育会館新館大ホールにて開催した。

さらには、平成 30 年 3 月 26 日に千葉県と「災害時の医療救護活動に関する協定」を締結した。

#### エ. 介助犬認定事業

身体障害者の自立と社会参加の促進を目的とした補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）のうち、日常生活及び社会参加活動における介助動作を行い、肢体不自由者の生活の自立と社会参加の可能性を拡大するための介助犬について、当事業団は、平成 19 年 9 月 7 日に全国で 6 番目の介助犬認定事業者として厚生労働省より指定を受けている。

平成 29 年度の認定は無かった。当事業団が認定した介助犬はこれまで 4 頭の認定をしており、そのうち現役の介助犬は 2 頭である。今年度は、この 2 頭の訓練事業所に対し、「介助犬使用状況及び継続指導等報告書」によるフォローアップを実施した。

(2) 外部向け研修会、講習会、公開講座等の開催状況

ア. 第17回千葉県千葉リハビリテーションセンター公開講座

担当部署	地域連携部	内容 ・テーマ 『動いて実感！感じて納得！リハビリテーション』 ・全体講演「リハビリテーションってなんだろう？」 ・(千葉リハビリテーションセンター センター長 吉永 勝則) ・トークショー (リオデジャネイロパラリンピック ボッチャ団体戦銀メダリスト・廣瀬隆喜氏) ・体験：職種や部署ごとにブース設置 ○こどもの発達を促す遊びの体験(スヌーズレン) ○耳年齢測定 ○ロボットのリハビリの紹介 ○子供のリハビリの紹介(スパイダー) ○高齢者・障害者体験(歩行・車いす体験) ○低視力・視野測定体験 ○栄養機能食品の展示・試食体験 ○筋電義手体験 ・展示：○高次脳機能障害の紹介○自助具・コミュニケーションエイドの展示○ロービジョン(低視力)グッズの紹介○ボランティアスタッフの紹介 ・見学：○リハビリ室コース○調剤室コース○三次元動作解析室・福祉用具展示室・ドライビングシミュレーターコース
目的	小児から成人、高齢者に至るまで、民間では対応が難しい障害のある方々の家庭復帰や社会復帰に向けて、医療・看護・リハビリ療法・福祉などの当センター専門スタッフによる総合的リハビリテーションの様々な取り組みを広く県民に理解していただくことを目的とする。	
対象	県民、関係機関職員、関係職種養成校学生他	
日時	H29.7.8(土) 13:00~16:20	
場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール他	
参加人数	136名	

イ. 第13回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会 (千葉県受託)

担当部署	高次脳機能障害支援センター	内容 ・講演 『高次脳機能障害の就労支援～発達障害との対比から見てくること』 (一般社団法人 クォルトン研究所 職業カウンセラー 松田 啓一氏)
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	
対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員	
日時	H29.9.29(金) 19:00~21:00	
場所	千葉市民会館B1小ホール	
参加人数	174名	

ウ. 第1回高次脳機能障害就労支援研修会 (千葉県受託)

担当部署	高次脳機能障害支援センター	内容 ・講演『高次脳機能障害概論 その特性と対応』『高次脳機能障害者への就労支援の実際』 (高次脳機能障害支援センター 支援センター長 小倉 由紀) (更生園 上席生活支援員 中島 光喜)
目的	「千葉県高次脳機能障害支援普及事業委託契約」及び「千葉県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業実施要領」に基づき、高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、就労支援機関向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。	
対象	福祉機関、就労支援機関等の職員	
日時	H29.10.26(木) 13:00~16:00	
場所	千葉リハビリテーションセンター 3階研修室	
参加人数	44名	

エ. 成人在宅療養診療所医師のための小児在宅医療講習会  
(公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団助成事業)

担当部署	総合療育センター	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「小児在宅医療の現在の問題点」 (医療法人財団はるたか会 前田浩利)</li> <li>・講義「成人在宅医が小児在宅に期待される役割、小児と成人との違い」 (オレンジホームケアクリニック 紅谷浩之)</li> <li>・講義「小児在宅医療における呼吸リハ」 (千葉リハビリテーションセンター 田邊良)</li> <li>・ランチョンセミナー「小児在宅医療でのこどもたちのケア」(医療法人財団はるたか会 増田夏実 塚田典子)</li> <li>・講義「成人在宅医が知って良かったことTOP30」 (医療法人かがやき総合在宅医療クリニック 市橋亮一)</li> <li>・講義「小児の在宅医療診療報酬と福祉制度」 (岩沢医院 大野京子)</li> <li>・グループワーク「後天性障害児の症例検討」 「先天性障害児の症例検討」</li> </ul>
目的	全国各地で先駆的に小児在宅医療に取り組んでいる成人在宅療養診療所医師を招き、成人在宅療養診療所の医師が必要とする「小児在宅医療」の知識を実践的な形で提供することを目的とする。		
対象	小児在宅医療に関心のある在宅療養診療所医師		
日時	H29. 11. 11 (土) 9:00～16:00		
場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール		
参加人数	35名		

オ. 第14回脊髄損傷リハビリテーション講習会 (日本損害保険協会助成事業)

担当部署	地域連携部	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ『脊髄損傷者の生活を豊かに』</li> <li>・講演「脊髄損傷ってなんだろう(千葉県内の現状を含む)」 (千葉リハビリテーションセンター センター長 吉永 勝訓)</li> <li>・「脊髄損傷の慢性的な痛みの原因と対処方法」 (千葉リハビリテーションセンター 副センター長 菊地 尚久)</li> </ul>
目的	自動車事故により脳外傷や脊髄損傷などの後遺障害を被った被害者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、被害者とその家族、支援者等への情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。		
対象	当事者、家族、支援者 介護福祉士養成校、看護師養成校、リハ標榜病院等の職員他		
日時	H29. 11. 18 (土) 10:00～12:00		
場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール		
参加人数	105名		

カ. 平成29年度地域リハビリテーション調整者養成研修 (千葉県受託)

担当部署	地域連携部	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義 「地域リハビリテーションの考え方の基本」 (千葉県リハビリテーション支援センター 田中康之)</li> <li>・講義 「広域支援センターの役割と取り組みの実際」 (第1回 君津地域リハビリテーション広域支援センター 児玉美香/第2回 千葉地域リハビリテーション広域支援センター 堀尾暁)</li> </ul>
目的	地域リハビリテーションの基本的な考え方を確認し、千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業への理解を深めること。		
対象	ちば地域リハ・パートナー、ちば地域リハ・パートナー登録に関心のある施設・団体の方、回復期リハ病院、介護老人保健施設、PT・OT・ST養成校、社会福祉協議会、健康福祉センター、地域包括支援センター等		
日時	第1回H29. 12. 12(火)19:00～20:45 第2回H29. 12. 19(火) 19:00～20:45		
場所	第1回 君津市生涯学習交流センター2階多目的ホール 第2回 千葉市文化センター5階セミナー室		
参加人数	第1回 54名 第2回 70名		

キ. 平成29年度小児等訪問看護師育成研修事業重症児を受け入れる訪問看護師等を対象とする研修(千葉県受託)

担当部署	総合療育センター	内容	1回目(12.23) ・講義「障害児の特徴と疾病」 (愛育園長 石井 光子) ・講義「在宅療養する障害児のケアマネジメント・リスクマネジメント」 (社会福祉法人ワナーホーム 看護師 大久保夏樹) ・講義「医療的ケアの必要な重症児者が利用する制度・サービス」(社会福祉士 景山朋子) ・講義「障害児を育てる家族の経験・小児看護倫理」 (小児看護専門看護師 尾上 望) 1回目(12.24) ・講義「小児看護の役目と目標」 (千葉大学大学院看護学研究科教授 中村伸枝) ・実技「重度障害児のリハビリテーション」 (理学療法士 北村千里・川野晃裕) ・講義「重症心身障害児に対する座位保持装置の評価と実際」(理学療法士 大矢祥平・宇津木隆 作業療法士 高波博子) ・講義「事例を通じたディスカッション」 (理学療法士 金坂一篇・石田 純・鈴木謙太郎 作業療法士 伊藤孝子) ・講義「在宅療養児の看護：健康管理を中心に」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子) ・グループワーク「地域における多職種連携研修の振り返り」(池畑久美子・伊藤孝子・景山朋子) ※2回目についても、2日間で同内容を実施。
目的	医療的ケアが必要な小児が地域で安心して在宅医療ができるように訪問看護等を行う看護師等を育成することにより、障害児等の福祉の向上を図ることを目的とする。		
対象	重症児の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等を対象とする。在宅療養の障害児に関わる、又は関わる予定のある相談支援事業所等の職員等		
日時	1回目 H29.12.23(土) 9:00～16:25 H29.12.24(日) 9:00～16:30 2回目 H30.2.11(日) 9:00～16:25 H30.2.12(祝・月) 9:00～16:30		
場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール		
参加人数	1回目:24名 2回目:40名 計64名		

ク. 平成29年度相談支援従事者専門コース別研修(医療的ケアの必要な重症児者への相談支援)(千葉県受託)

担当部署	総合療育センター	内容	1回目(12.23) ・講義「障害児の特徴と疾病」 (愛育園長 石井光子) ・講義「在宅療養する障害児のケアマネジメント・リスクマネジメント」 (社会福祉法人ワナーホーム 看護師 大久保夏樹) ・講義「医療的ケアの必要な重症児者が利用する制度・サービス」(社会福祉士 景山朋子) ・愛育園見学 ・演習Ⅰ「医療的ケアの濃厚な重症児と家族への相談支援と計画作成」(相談支援専門員 佐藤郁夫) ・グループワーク「障害児支援利用計画書の作成」(相談支援専門員 佐藤郁夫) ・演習Ⅱ「医療的ケアの濃厚な重症者への相談支援と意思決定支援」(相談支援専門員 景山朋子) ・グループワーク「サービス利用計画書の作成」(相談支援専門員 景山朋子) ・講義「多機関連携による重症児の在宅移行支援」 (東京女子医科大宅八千代医療センター ソーシャルワーカー 田中亜季) ・講義「在宅療養児の看護：健康管理を中心に」(淑徳大学看護栄養学部地域看護学領域 谷口由紀子) ・グループワーク「地域における多職種連携研修の振り返り」(池畑久美子・伊藤孝子・景山朋子) ※2回目についても、2日間で同内容を実施。
目的	障害のある人やその家族等からの相談に応じる相談支援従事者等を対象に、厚生労働省により必須とされている研修以外の専門的研修を行うことにより相談支援従事者の専門的知識の取得、スキルアップ等を目的とする。		
対象	相談支援専門員等障害者相談支援に従事する者等		
日時	1回目 H29.12.23(土) 9:00～16:25 H29.12.24(日) 9:00～16:30 2回目 H30.2.11(日) 9:00～16:25 H30.2.12(祝・月) 9:00～16:30		
場所	千葉リハビリテーションセンター 2階大ホール		
参加人数	1回目:28名 2回目:39名 計67名		



ケ. 第14回高次脳機能障害リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）

担当部署	高次脳機能障害支援センター	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ『当事者・家族の思いと高次脳機能障害者支援』</li> <li>・講演「高次脳機能障がい者と家族の支援～地域支援を中心に～」 (医療法人巖心会 栃内第二病院 山館 圭子氏)</li> <li>・当事者による体験談『身体障害と高次脳機能障害を抱えて働くことを通じて』(尾上 高志氏)</li> </ul>
目的	自動車事故、転倒、転落等による脳損傷に起因する様々な神経心理学的障害を有する高次脳機能障害者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、当事者とその家族、支援者等への情報提供や、情報交換の場を提供することを目的とする。		
対象	当事者、家族 行政機関、医療機関、地域包括支援センター、就労移行・就労継続機関等の職員		
日時	H30.1.13(土) 13:00～16:00		
場所	京業銀行文化プラザ 6F 樺の間		
参加人数	147名		

コ. 第3回千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会(同協議会構成団体及び事務局として実施)

担当部署	地域連携部	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ『災害リハビリテーションの推進に向けて～実際の活動を通して見えてきたこと～』</li> <li>・講演「千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会の概要について」 (千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会 会長 吉永 勝剛(千葉県千葉リハビリテーションセンター長))</li> <li>・講演「災害時保健師活動からみた災害リハとの連携」 (千葉県健康福祉部健康づくり支援課 市川 滋子)</li> <li>・講演「九州北部豪雨災害における大分JRATの活動～平時の地域リハビリテーション活動と災害支援～」 (大分県リハビリテーション支援センター(JCHO湯布院病院内) 會川 裕子)</li> </ul>
目的	災害リハビリテーションの取組みの情報提供と情報交換の場を提供し、災害リハビリテーションの充実を図ることを目的とする。		
対象	千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会構成団体の他、関係機関、関係施設の医師、理学療法士、作業療法士、盲聾唖覚士、看護師、介護支援専門員の専門職を対象		
日時	H30.1.27(土) 9:30～12:00		
場所	千葉県教育会館 新館 大ホール		
参加人数	123名		

サ. 第11回千葉県地域リハビリテーションフォーラム (千葉県受託)

担当部署	地域連携部	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ『これからの地域リハビリテーション』</li> <li>・講演「埼玉県の地域包括ケアシステム構築における地域リハビリテーションの推進」 (埼玉県福祉部障害者福祉推進課 鈴木 淳子)</li> <li>・ポスターセッション「千葉県内の地域リハビリテーション活動報告」20演題</li> <li>・シンポジウム 「地域包括ケア推進に向けた地域リハビリテーション活動の実践」 (社会医療法人さいたま市民医療センター 大熊克信) (医療法人社団慈愛会 九十九里病院 森田悠介)</li> </ul>
目的	千葉県地域リハビリテーション支援体制整備推進事業により、地域リハビリテーションに関するフォーラムを通じて、関係機関の医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等に地域リハビリテーション等に関する情報提供、情報交換の場を提供することを目的とする。		
対象	通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、リハビリテーション科標榜病院、地域包括支援センター、市町村担当課、社会福祉協議会、県内の理学療法士・作業療法士養成校、広域支援センターの参加者		
日時	H30.1.27 (土) 12:30~16:30		
場所	千葉県教育会館 新館大ホール 本館303会議室		
参加人数	146名		

シ. 第11回高次脳機能障害と自動車運転勉強会 (千葉県受託)

担当部署	高次脳機能障害支援センター	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義 自動車運転支援における神経心理学的評価 (千葉リハビリテーションセンター 上席作業療法士 石田理江子)</li> <li>・講義 事例紹介① (千葉リハビリテーションセンター 作業療法士 吉村友宏)</li> <li>・講義 事例紹介② (千葉リハビリテーションセンター 作業療法士 尾花智子)</li> <li>・講義 教習所との連携について考える (高次脳機能障害支援センター センター長 小倉由紀) (千葉県自動車練習所 赤城教習指導員)</li> <li>・ドライビングシミュレーターの紹介・体験</li> </ul>
目的	高次脳機能障害支援普及事業の一環として、自動車運転再開に関する支援者の育成、研鑽、情報提供を行う。		
対象	高次脳機能障害者の自動車運転再開に関する支援を行っている方及びこれから支援を行おうとしている方。		
日時	H30.3.10 (土) 13:00~16:00		
場所	千葉リハビリテーションセンター 3階研修室		
参加人数	15名		

## 7. 医療安全

### (1) 医療安全管理室

#### ア. 概要

医療安全管理室は、平成20年度からリスクマネジメント関係の諸機能を集約して行うことを目的として、センター長の直属部署として設置された。

医療安全の確保は、当センターの医療理念において重要な課題の一つであり、センター全体における安全確保と事故を未然に防止することを目標に、万一事故が起きた場合等にもセンターと患者との信頼関係を損なうことのないように医療安全に努めた。

また、新型インフルエンザをはじめ、各種感染症に対する院内感染の防止に努めた。

#### イ. 各種委員会・研修会等の開催状況

##### (ア) 事故やヒヤリ・ハット事例の検討等

医療安全管理委員会	各月第1月曜日開催	12回/年
リスクマネジメント部会	各月第4金曜日開催	12回/年
医療安全カンファレンス	毎週月曜日開催	

##### (イ) 感染症対策に関する事項の検討等

院内感染予防対策委員会	各月第3月曜日開催	12回/年
院内感染担当者連絡会	各月第1金曜日	
ICT作業部会	各月第3水曜日	
褥瘡対策委員会	各月第1月曜日	
褥瘡回診	各月第1月曜日・第3水曜日	

##### (ウ) 職員のリスクマネジメントに関する意識を啓発するとともに、安全な医療を推進する体制を構築するために職員の資質向上を目的として、また、院内感染対策に関する知識を習得し、医療安全を図るための研修会・学習会を開催した。

平成29年 7月12日(水) 17:15 ~ 18:15

「基礎から学ぼう感染対策」

平成29年 9月13日(水) 17:15 ~ 18:20

「説明と記録の重要性」

平成29年11月22日(水) 17:15 ~ 18:20

「手指衛生の落とし穴 ~ あなたの手は今清潔ですか～」

「医療安全の考え方 ~ 医療安全文化醸成のために～」

ウ. 医療事故等の状況

医療施設等（リハビリテーション医療施設、愛育園、児童発達支援センター）

（単位：件）

	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4	レベル5	計
4月	20	79	6	12	2	0	0	119
5月	16	57	6	16	0	0	0	95
6月	27	61	5	14	0	0	0	107
7月	20	76	16	10	2	0	0	124
8月	23	74	7	9	0	0	0	113
9月	18	54	14	11	2	0	0	99
10月	21	97	9	15	0	0	0	142
11月	26	99	11	10	0	0	0	146
12月	19	78	11	2	0	0	0	110
1月	19	56	12	4	0	0	0	91
2月	19	70	20	9	0	0	0	118
3月	23	79	22	11	0	0	0	135
計	251	880	139	123	6	0	0	1,399

福祉施設（更生園）

（単位：件）

	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3a	レベル3b	レベル4	レベル5	計
4月	0	5	1	0	0	0	0	6
5月	1	4	3	1	0	0	0	9
6月	1	7	1	0	0	0	0	9
7月	0	3	2	1	0	0	0	6
8月	0	6	0	0	0	0	0	6
9月	1	7	0	1	0	0	0	9
10月	1	4	2	0	0	0	0	7
11月	3	1	1	0	0	0	0	5
12月	3	11	1	0	0	0	0	15
1月	1	9	1	1	0	0	0	12
2月	1	10	2	2	0	0	0	15
3月	0	10	2	1	0	0	0	13
計	12	77	16	7	0	0	0	112

医療事故の影響レベル（医療安全管理指針 第2の3）

発生した医療事故事例が、患者にどの程度の影響を与えたかを次表のレベルに従い、患者の傷害の継続性・程度・内容により区分したもの。

	レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容
アクシデント	5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
	4	永続的	軽度～高度	永続的な障害や後遺症が残った（残る可能性も含む）
	3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）や離棟離院で警察への捜索依頼を行い、発見後濃厚な治療を要した場合
インシデント	3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）や離棟離院で警察への捜索を依頼したが、発見後特に治療を必要としなかった場合
	2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）や離棟離院で一時捜索を行った場合
	1	なし		患者への実害はなかった
	0	—		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった

注：「国立大学附属病院医療安全管理協議会」作成の医療事故のインシデント影響度分類を参考に整理した

ヒヤリ・ハット事例（医療安全管理指針 第2の4）

患者への実害はない又は影響が軽度である事例を収集し、医療事故の防止に資するために報告を要するもので、「医療事故の影響レベル」の0～3aに該当するものをいう。

エ. 医療機器管理の状況

単位：件

	日常点検	使用後点検	定期点検	故障点検	修理	外部修理	OH・PM	合計	貸し出し	返却
4月	19	51	29	10	15	3	2	129	54	68
5月	15	38	23	9	13	5	3	106	44	47
6月	12	31	19	11	9	6	0	88	49	48
7月	7	40	19	7	3	5	2	83	46	46
8月	14	27	22	4	0	4	2	73	33	34
9月	20	31	27	6	5	1	0	90	50	44
10月	12	57	31	11	8	4	0	123	62	68
11月	13	21	18	6	11	4	0	73	41	38
12月	14	16	21	13	7	10	0	81	42	33
1月	12	25	21	9	8	5	0	80	36	36
2月	14	27	22	5	4	2	0	74	40	43
3月	15	25	18	6	2	8	0	74	36	32
総数	167	389	270	97	85	57	9	1,074	533	537

※OH (overhaul オーバーホール)

: 通常の点検では行わない分解清掃、耐用時間に応じた部品交換、専用の治具を用いた調整、など。

※PM (preventive maintenance プリベンティブメンテナンス)

: 予防的メンテナンス。

(消耗時期を予測できる部分を、使用不可になる前に交換すること。)

### 第3 行政・学校・施設等に対する技術的援助等

#### 1. 職員派遣の状況

##### (1) 医師の派遣指導実施状況

##### ア. 成人関係

依頼先（場所）	内 容	回数	診療科名	実人数 （人）	延人数 （人）
季美の森リハビリテーション病院 （同上）	講師「リハビリテーション概論」	1	リハビリテーション科	1	1
千葉市ことぶき大学校 （同上）	講師「加齢とのつき合い方」	1	リハビリテーション科	1	1
横浜市立大学附属市民総合医療センター （同上）	リハビリテーション科外来診療	46	リハビリテーション科	1	46
千葉県こども病院 （同上）	眼科外来診療	25	眼科	1	25
おゆみ野中央病院 （同上）	整形外科・リウマチ外来診療	12	第二整形外科	1	12
千葉きぼーるクリニック （同上）	整形外科外来診療	11	第二整形外科	1	11
高根町整形外科 （同上）	整形外科外来診療指導	12	第一整形外科	1	12
千葉県立保健医療大学 （同上）	講義「リハビリテーション医学」	11	リハビリテーション科	1	11
障害者職業総合センター （同上）	講師「医学リハビリテーション概論」	1	リハビリテーション科	1	1
旭神経内科リハビリテーション病院 （同上）	講師「高次脳機能障害者に対する自動車運転評価」	1	第一神経内科	1	1
交通事故被害者家族ネットワーク （千葉県千葉リハビリテーションセンター）	講師「交通事故のリハビリ～脊髄損傷の場合」	1	リハビリテーション科	1	1
小	計	122		11	122

イ. 小児関係

依頼先 (場所)	内 容	回数	診療科名	実人数 (人)	延人数 (人)
市原市 (市原市発達支援センター)	療育相談	12	第二小児神経科	1	12
松戸市 (松戸市こども発達センター)	健診・療育相談	12	第一小児整形外科	1	12
東葛医療福祉センター光陽園 (同上)	施設における診察	12	第二小児整形外科	1	12
東京女子医科大学八千代医療センター (同上)	診察・技術支援	3	第一小児神経科	1	3
千葉県健康福祉部疾病対策課 (千葉県庁)	難病相談担当者研修講師	1	第一小児科	1	1
千葉県立袖ヶ浦特別支援学校 (同上)	医療的ケア実施担当者の個別研修 修学旅行同行	17	第一小児科	1	17
(同上)		2	第二小児神経科	1	2
千葉県立桜が丘特別支援学校 (同上)	医療的ケア実施担当者の個別研修 修学旅行同行	10	第一小児神経科	1	10
(同上)		2	第一小児神経科	1	2
千葉県立市原特別支援学校 (同上)	医療的ケア研修会	1	第一小児神経科	1	1
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)	県立特別支援学校看護師研修会講師	3	第一小児科	1	3
(千葉県教育会館)	医療的ケア運営会議助言	2	第一小児科	1	2
(千葉県立袖ヶ浦特別支援学校)	医療的ケア運営会議助言	1	第一小児科	1	1
(千葉県立袖ヶ浦特別支援学校)	医療的ケア基本研修講師	1	第一小児科	1	1
(千葉県立袖ヶ浦特別支援学校)	医療的ケア基本研修講師	1	第一小児神経科	1	1
(千葉県総合教育センター)	医療的ケア基本研修講師	2	第一小児科	1	2
(千葉県総合教育センター)	医療的ケア基本研修講師	1	第一小児神経科	1	1
(千葉市ビジネス支援センター)	医療的ケア実施校連絡協議会指導助言	1	第一小児科	1	1
(千葉県総合教育センター)	医療的ケア実施校連絡協議会指導助言	1	第一小児科	1	1
千葉県総合教育センター (同上)	医師から学ぶ医学的知識研修講師	1	第一小児神経科	1	1
市原健康福祉センター (市原市市民会館)	小児慢性特定疾病児童等自立支援 事業講演会講師	1	第一小児科	1	1
千葉県こども病院 (同上)	超重症児を受入れるための訪問看護 師研修講師	1	第一小児科	1	1
		1	第一小児科	1	1
小 計		89		23	89
合 計		211		34	211

## (2) 療法士の派遣指導実施状況

## ア. 理学療法士

依頼先 (場所)	内 容	回数	実人数 (人)	延人数 (人)
千葉県立保健医療大学 (同上)	講義「発達障害理学療法学演習 他」	16	9	16
城西国際大学 (同上)	講義「リハビリテーション論」	4	3	12
国際医療福祉大学 (同上)	PTスキルⅠ演習 (キャリアデザイン) 講師	1	1	1
千葉県こども病院 (千葉市 通町公園)	褥瘡管理委員会研修	1	1	1
千葉県病院局 (千葉県立保健医療大学)	千葉県立病院等新規採用者交流会講師	1	2	2
千葉県健康福祉部高齢者福祉課 (千葉市文化センター 他)	介護予防事業従事者研修講師	9	1	9
千葉県健康福祉部高齢者福祉課 (富津市役所 他)	介護予防活動普及展開事業アドバイザー	5	1	5
千葉県立袖ヶ浦特別支援学校 (同上)	研修会講師	1	1	1
千葉県立桜が丘特別支援学校 (同上)	校内研修会	3	1	3
千葉市保健福祉局高齢障害部 (千葉市総合保健医療センター)	高次脳機能障害研修会講師	1	1	1
千葉市身体障害者連合会 (ハーモニープラザ)	身体障害者スポーツ大会障害区分判定	1	1	1
館山市 (館山市簡易マザーズホーム)	理学療法に関する技術指導	3	1	3
いんば障害者相談センター (印西市立中央駅前地域交流館)	高次脳機能障害ご家族向けの勉強、交流会講師	2	1	2
千葉市保健福祉局地域包括ケア推進課 (千葉市総合保健医療センター)	千葉市地域リハ活動支援事業説明会講師	1	1	1
市川市介護福祉課 (市川市勤労福祉センター)	高齢者健康体操普及員養成教室修了者研修会講師	1	1	1
柏市介護支援専門員協議会 (柏市文化会館)	高次脳機能障害勉強会講師	1	1	1
佐倉市高齢者福祉課 (市民体育館)	佐倉わくわく体操交流会講師	1	1	1
山武長生夷隅地域リハ広域支援センター (山之内病院)	地域リハ支援事業説明会講師	1	1	1



依頼先（場所）	内 容	回数	実人数 （人）	延人数 （人）
白井市高齢者福祉課 （白井市保健福祉センター）	白井市在宅医療介護連携研修会	1	1	1
障害者職業総合センター （障害者職業総合センター）	厚生労働省大臣指定研修講師	2	2	2
千葉県回復期リハ連携の会 （ホテルポートプラザちば）	全県大会シンポジウム座長	1	1	1
ちば高次脳機能障害者と家族の会 （千葉県千葉リハビリテーションセンター）	家族会活動研修会講師	1	1	1
社会福祉法人 光明会 （成田Uシティホテル）	高次脳機能障害研修会講師	1	1	1
小	計	59	35	68

#### イ. 作業療法士

依頼先（場所）	内 容	回数	実人数 （人）	延人数 （人）
千葉県立保健医療大学 （同上）	講義「作業療法治療学」他	13	1	13
千葉県立桜が丘特別支援学校 （同上）	校内研究会講師	1	1	1
千葉市保健福祉局高齢障害部 （千葉市総合保健医療センター）	高次脳機能障害研修会講師	1	1	1
いんば障害者相談センター （印西市立中央駅前地域交流館）	高次脳機能障害ご家族向けの勉強、交流会講師	2	1	2
千葉県作業療法士会 （千葉県立保健医療大学）	作業療法研修会講師	1	1	1
障害者職業総合センター （同上）	厚生労働省大臣指定研修講師	1	1	1
ちば高次脳機能障害者と家族の会 （千葉県千葉リハビリテーションセンター）	家族会活動研修会講師	1	1	1
旭神経内科リハビリテーション病院 （同上）	高次脳機能障害者に対する自動車運転評価講師	1	1	1
小	計	21	8	21

ウ. 言語聴覚士

依頼先 (場所)	内 容	回数	実人数 (人)	延人数 (人)
千葉県立保健医療大学 (同上)	講義「口腔機能の評価と機能訓練法」	2	1	2
千葉県立桜が丘特別支援学校 (同上)	校内研究会講師	1	1	1
国立特別支援教育総合研究所 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)	特別支援教育専門研修講師	1	1	1
千葉県言語聴覚士会 (パレット柏)	小児言語障害研修会講師	1	1	1
言語発達障害研究会 (国立オリンピック記念青少年総合センター)	講習会講師	4	2	4
小 計		9	6	9

エ. 視能訓練士

依頼先 (場所)	内 容	回数	実人数 (人)	延人数 (人)
千葉市 (千葉市保健所)	3歳児健康診査	2	2	2
市川市 (市川市南行徳保健センター) (市川市保健センター)	3歳児健康診査時視力検査	4	2	4
小 計		6	4	6

オ. 心理発達治療士

依頼先 (場所)	内 容	回数	実人数 (人)	延人数 (人)
国立特別支援教育総合研究所 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)	特別支援教育専門研修講師	1	1	1
東総就業センター (銚子市青少年文化会館)	就業支援者養成セミナー講師	1	1	1
小 計		2	2	2
合 計		97	55	106

(3) 看護師の派遣指導実施状況

依頼先（場所）	内 容	回数	実人数 （人）	延人数 （人）
千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課 （千葉市ビジネス支援センター） （千葉県千葉リハビリテーションセンター）	医療的ケア実施校連絡協議会講師 特別支援学校看護師研修会講師	1 3	1 1	1 3
千葉県立野田看護専門学校 （同上）	講義「小児の健康障害と看護」	9	3	9
千葉県立鶴舞看護専門学校 （同上）	講義「成人看護学援助法Ⅰ」	4	2	4
千葉県立保健医療大学 （千葉県立保健医療大学）	講義「障がいのある小児の看護」	1	1	1
淑徳大学 （同上）	講義「小児看護援助論 他」	1	1	1
了徳寺大学 （同上）	講義「小児看護方法論 他」	1	1	1
千葉県立袖ヶ浦特別支援学校 （同上） （同上） （同上） （同上）	修学旅行同行 宿泊学習同行 校外学習同行 学校行事同行	14 5 4 11	7 3 4 11	14 5 4 11
公益社団法人千葉県看護協会 （千葉県看護会館） （千葉県看護会館） （アパホテル）	N I C U 看護師育成研修講師 認定看護管理者教育課程講師 千葉県看護研究学会論文評価	2 5 1	1 1 1	2 5 1
千葉県こども病院 （同上）	超重症児を受け入れるための訪問看護師研修講師	1	1	1
千葉県乳児院 （同上）	摂食嚥下リハビリテーション研修会講師	1	1	1
合 計		64	40	64

## (4) その他専門職員の派遣指導実施状況

依頼先 (場所)	内 容	職種	回数	実人数 (人)	延人数 (人)
千葉県健康福祉部障害福祉事業課 (千葉県教育会館)	千葉県相談支援従事者現任研修会講師	指導員	8	4	8
(千葉県教育会館)	千葉県相談支援従事者現任研修会講師	指導員	2	1	2
(千葉県教育会館)	千葉県児童発達支援管理者研修会講師	指導員	3	1	3
(千葉県千葉リハビリテーションセンター)	サービス管理責任者研修	指導員	2	1	2
(千葉市民会館大ホール)	サービス管理責任者研修	指導員	1	1	1
千葉県健康福祉部疾病対策課 (千葉県庁)	難病相談担当者研修講師	指導員	1	1	1
障害者職業総合センター (同上)	職業リハビリテーション実践セミナー 講師	指導員	1	1	1
東総就業センター (銚子市青少年文化会館)	就業支援者養成セミナー講師	指導員	1	1	1
市原健康福祉センター (市原市民会館)	小児慢性特定疾病病児等自立支援事業 講演会講師	指導員	1	1	1
ちば高次脳機能障害者と家族の会 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)	家族会活動研究会講師	ソーシャル ワーカー	1	1	1
いんば障害者相談センター (印西市立中央駅前地域交流館)	高次脳機能障害ご家族向けの勉強、交流 会講師	ソーシャル ワーカー	2	1	2
淑徳大学 (同上)	講義「卒後教育と人間開発Ⅱ」	ソーシャル ワーカー	2	1	2
千葉県健康福祉部障害福祉事業課 (同上)	児童発達支援管理責任者研修講師	保育士	4	1	4
東邦大学佐倉看護専門学校 (同上)	講義「リハビリテーション論」	義肢装具士	1	1	1
千葉県保健医療大学 (同上)	講義「日常生活活動援助学」	義肢装具士	6	1	6
合	計		36	18	36

## 2. 実習等受入の状況

### (1) 実習生の受入状況

所属名	依頼先	実習名	実習期間	日数(日)		人数(人)	
				実日数	延日数	実人数	延人数
人材育成部	千葉大学医学部	IPE(専門職連携教育)見学実習	5/25・6/1	2	40	40	40
診療部	千葉大学医学部	7ト・バンスト・リニカ・クレーンアップ実習	4/1~3/31	28	101	101	101
	日本歯科大学東京短期大学	歯科衛生士臨地実習	6/14~7/12	9	27	9	27
		歯科衛生士臨地実習	3/1~3/9	6	16	8	16
リハビリ療法部 理学療法科	茨城県立医療大学	総合臨床実習	6/12~7/22	67	67	2	67
	千葉県立保健医療大学	臨床実習Ⅳ	6/19~8/12	30	30	1	30
	社会医学技術学院	理学療法臨床実習	8/21~10/13	37	37	1	37
	藤リハビリテーション学院	臨床実習	12/4~12/15	10	10	1	10
	植草学園大学	総合臨床実習	2/5~3/1	18	18	1	18
	帝京平成大学	臨床実習Ⅳ	9/4~10/27	38	38	1	38
	杏林大学	総合臨床実習	6/12~7/28	34	34	1	34
	城西国際大学	施設見学	10/24~11/7	3	69	69	69
	埼玉県立大学	臨床教育実習	6/26~7/28	24	24	1	24
	仙台青葉学院短期大学	臨床実習Ⅰ	11/13~11/22	12	12	2	12
	国際医療福祉大学	検査実習	10/11~3/2	10	20	2	20
	リハビリ療法部 作業療法科	千葉県立保健医療大学	総合実習Ⅰ	4/10~6/3	37	37	1
総合実習Ⅱ(小児)			6/12~8/5	39	39	1	39
総合実習Ⅱ(成人)			6/12~8/5	39	39	1	39
評価実習Ⅱ			10/10~10/27	14	14	1	14
八千代リハビリテーション学院		見学・体験実習	2/7~2/15	2	2	1	2
帝京平成大学		見学・体験実習	8/24	4	4	4	4
	臨床実習	1/22~2/9	8	8	8	8	
リハビリ療法部 言語聴覚科	臨床福祉教育専門学校	臨床実習	9/25~11/17	37	37	1	37
	帝京平成大学	施設見学	8/16	1	21	21	21
		臨床実習	9/4~10/13	28	28	1	28
	国立障害者リハビリテーション学院	臨床実習	6/5~7/14	30	30	1	30
リハビリ療法部 視能矯正科	国際医療福祉大学	臨地実習	5/8~6/17	30	60	2	60
	新潟医療福祉大学	臨地実習	11/1~11/30	20	40	2	40
薬剤部	日本大学	病院実務実習	5/22~5/26	5	5	1	5
		病院実務実習	9/19~9/22	4	4	1	4
	城西国際大学	病院実務実習	5/22~5/26	5	5	1	5
		病院実務実習	9/19~9/22	4	4	1	4
		病院実務実習	10/10~10/13	8	8	2	8
		病院実務実習	1/22~1/26	5	5	1	5
病院実務実習	2/13~2/16	4	4	1	4		
栄養部	淑徳大学	臨地実習	11/6~11/27	15	30	2	30
看護局	千葉大学	母性・小児看護コア実習	5/16~1/23	6	82	82	82
		小児看護統合実習	7/18~7/28	7	21	3	21
		老人看護統合実習	7/18~7/28	13	44	5	44
		卒業実習	11/2~12/22	14	14	2	14
		IPE(専門職連携教育)体験実習	6/7・6/14	2	31	31	31

所属名	依頼先	実習名	実習期間	日数(日)		人数(人)	
				実日数	延日数	実人数	延人数
看護局	千葉県立保健医療大学	成人看護学実習	10/24~2/1	31	196	19	196
		高齢者看護実習	5/9~1/16	4	77	77	77
		小児看護実習	5/17~2/16	8	77	77	77
		卒業実習	10/27・11/7	2	2	1	2
	千葉県立野田看護専門学校	小児看護学実習 I-2	11/29~12/1	3	38	38	38
	淑徳大学	総合実習(小児看護)	5/15~5/25	8	32	4	32
		総合実習(成人看護)	5/15~5/25	8	32	4	32
		看護学実習 II	10/4~11/1	15	77	26	77
		臨地実習(小児看護学)	10/19~3/8	8	49	49	49
	千葉中央看護専門学校	成人看護学実習	9/19~10/26	25	99	8	99
	千葉科学大学	統合看護実習	9/19~9/29	9	18	2	18
	了徳寺大学	小児看護学実習	9/26~2/27	13	113	113	113
	城西国際大学	在宅看護学実習	11/9~2/8	5	9	9	9
	東邦大学佐倉看護専門学校	見学実習	9/5~9/6	2	27	27	27
鶴舞看護専門学校	見学実習	2/14~2/15	2	31	31	31	
総合療育センター	植草学園短期大学	保育実習 I (施設)	9/4~9/15	10	10	1	10
		介護実習 I (施設)	9/11~9/16	7	7	7	7
	植草学園大学	保育実習	2/19~3/2	10	10	1	10
	共立女子大学	保育実習	2/12~2/28	11	11	1	11
	千葉女子専門学校	施設実習(保育実習 I)	8/1~8/17	12	12	1	12
	淑徳大学実習教育センター	相談援助実習	8/1~8/22	16	16	1	16
	聖徳大学	施設実習	8/9~8/22	11	11	1	11
	千葉明德短期大学	保育実習 III	8/21~9/5	12	12	1	12
	成田国際福祉専門学校	保育実習 II [施設実習]	7/24~8/8	12	12	1	12
	千葉こども専門学校	施設実習	5/22~6/2	1	10	10	10
	東洋大学	保育実習	2/22~3/9	12	12	1	12
	聖徳大学短期大学部	施設実習	2/5~2/17	11	11	1	11
	更生園	淑徳大学 実習教育センター	相談援助実習	8/21~9/11	16	16	1
和洋女子大学		相談援助実習	8/2~9/22	24	24	1	24
武蔵野大学		社会福祉実習	10/2~11/13	23	23	1	23
千葉経済大学短期大学部		保育実習	3/5~3/16	1	10	10	10
千葉県保健医療大学		理学療法臨床測定学実習	11/16~12/7	3	12	12	12
		地域作業療法実習	10/10~10/20	9	9	1	9
埼玉県立大学		共生社会実習	9/4~9/8	5	5	1	5
城西国際大学		ソーシャルワーク実習	10/2~11/17	26	26	1	26
地域連携部	淑徳大学 実習教育センター	保健医療相談援助実習	8/21~9/5	12	12	1	12
	聖徳大学通信教育部	相談援助実習	12/1~1/26	24	24	1	24
愛育園・更生園合同	淑徳大学	見学実習	11/1	1	18	18	18
合計				1,121	2,349	978	2,349

## (2) 研修生の受入状況

所属名	依頼先	実習名	実習期間	日数(日)		人数(人)	
				実日数	延日数	実人数	延人数
リハビリテーション療法部 (理学療法科) (作業療法科) (PT・OT合同)	青年海外協力協会	技術補完研修	5/15～6/2	15	15	1	15
	訪問看護ステーションひとみ	職員研修	9/6～9/25	4	4	1	4
	浦安市障がい者福祉センター	職員研修	10/2～12/6	13	13	2	13
	こども病院	職員研修	6/1～7/31	18	18	1	18
	季美の森リハビリテーション病院	脊髄損傷実地実習	12/15～1/26	6	12	2	12
看護局	千葉大学大学院看護学研究科	小児専門看護師前期課程	11/1～11/22	10	10	1	10
		留学生実習	7/11	1	4	4	4
		教員実習指導	4/18～7/28	7	7	1	7
	了徳寺大学	実習前研修	9/26	1	1	1	1
	神奈川県立保健福祉大学	看護経営者論実習	8/22	1	1	1	1
	東京慈恵会医科大学	研究データ収集	5月～3月	10	10	1	10
	日本重症心身福祉協会	重症心身障害看護師研修会	6/5～11/9	3	10	10	10
	茨城県立医療大学	認定看護師教育課程	1/10～2/15	27	51	2	51
	あじさい療育センター	医療的ケア実践研修	6/5～6/13	4	8	2	8
	心身障害者総合医療センター	認定・専門看護師施設見学	3/12・26	2	8	4	8
	千葉中央看護専門学校	実習前研修	8/7	1	2	2	2
	季美の森リハビリテーション病院	脊髄損傷実地実習	12/15～1/26	6	6	1	6
総合療育 センター	千葉県社会福祉協議会	義務教育教員介護体験	11/6～12/15	5	10	2	10
		職場体験	8/22～8/23	2	2	1	2
合計				136	192	40	192

